



ラミアの里
〜合同誌〜

ラミアの里

〜合同誌〜

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

askot



ラミアの里

〜合同誌〜

ランタナ
まに
オザワヨシ
たんぽぽ隼丸
沈没タワー
たらんこぶ
アレキシ

ねころためき
机野エルフ
むにおに
K2
mi@nomi
abc-pauler
ぽしゅ氏

ばんこく堂
むむむ
仲田静
そんなに
こまる
Po2



目次

P.96 奥付

P.03 オザワヨシ [__zaw__](#)

村長さん描けば描くほどカワイイ!皆さんもぜひ可愛がって可愛がられてくださいませ。

P.11 たんぽぽ隼丸 [ktss_rgm](#)

素敵な企画にお呼び頂きありがとうございました!メルを担当できて嬉しかったです!

P.19 沈没タワー [20554146](#)

中々に癖のあるキャラデザで少々苦戦しましたが楽しかったです!有難うございました!

P.27 たらんこぶ [taran_kobu](#)

ラミアは普段中々描かないので勉強になりました。にゆるにゆる長舌がエッチで好きです

P.39 アレキシ [palexi](#)

おちちたべたい

P.43 ねころたぬき [tanukine](#)

男の子だって尻尾や触手に騎られたい!

P.51 机野エルフ [tukuferufu800](#)

再びお声をかけて頂きありがとうございました。モン娘…メンヘララミアに愛されたい笑

P.59 むにおに [tensei_munio](#)

メルちゃんとても可愛くて描くの楽しかったです!

P.63 K2 [cc3pk2](#)

ベリルさん、無表情で何をされるのかわからないハラハラ感がゾクゾクします!

P.67 mi@nomi [4085196](#)

フラウさんはクールジト目ですごくかわいいなあと…。ラミアの里に住みたいです…。

P.71 abc-pauler [abcponkoipp](#)

すみません、色々ご迷惑をおかけしてしまいました!

P.75 ぽしゅ氏 [voregogogogo](#)

里のモブで多人数プレイを妄想しました。ステキな合同へのお誘い感謝です。

P.79 ばんこく堂 [sysdes0932](#)

もっと拡がれラミアの輪!そして全ての人にごめんなさい

P.83 むむむ [__mumumu](#)

彼の後ろの初めてを奪うなら多分セイラさんかなと想像したら…こうなりまして…

P.84 まに [manimani1105](#)

ラミアまみれの優しくてエロい里って、理想だなあと書ききました…!

P.85 ランタナ [rantanatan](#)

献身的な良妻のご奉仕を淫猥な音声シナリオと共にお楽しみ頂ければ幸いです

P.92 仲田静 [1743722](#)

フラウちゃんは奥さんなので、しれっと左手に指輪を付けておきました。見えるかな?

P.93 そんなに [24844395](#)

素敵なラミアさんがたくさん登場する作品に呼んでいただき、ありがとうございます!

P.94 こまる [ruu_bot](#)

ロリ巨乳双子ラミアのダブルフェラを描きました。人外ベロはえっちですね

P.95 Po2 [Po2siu](#)

ラミアが一番好きなので今回参加させていただき凄く嬉しいです



ラミアの里
〜合同誌〜

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



あの……
セイラさん……？

一瞬のうちに
身体中をみっちり
絡めとられている……！
やさしさを感じる
抱擁なのに
全身動きは取れない……

実は飲み過ぎていて
酔っ払って
我を忘れていたのか……？
まったく解けない……！

あらあら♡
そんなにくっついてきちゃって
おアツイこと……♡

んもう♡そんなこと言って……

それにしても
ココはすごく期待して
いるみたいだけど……？

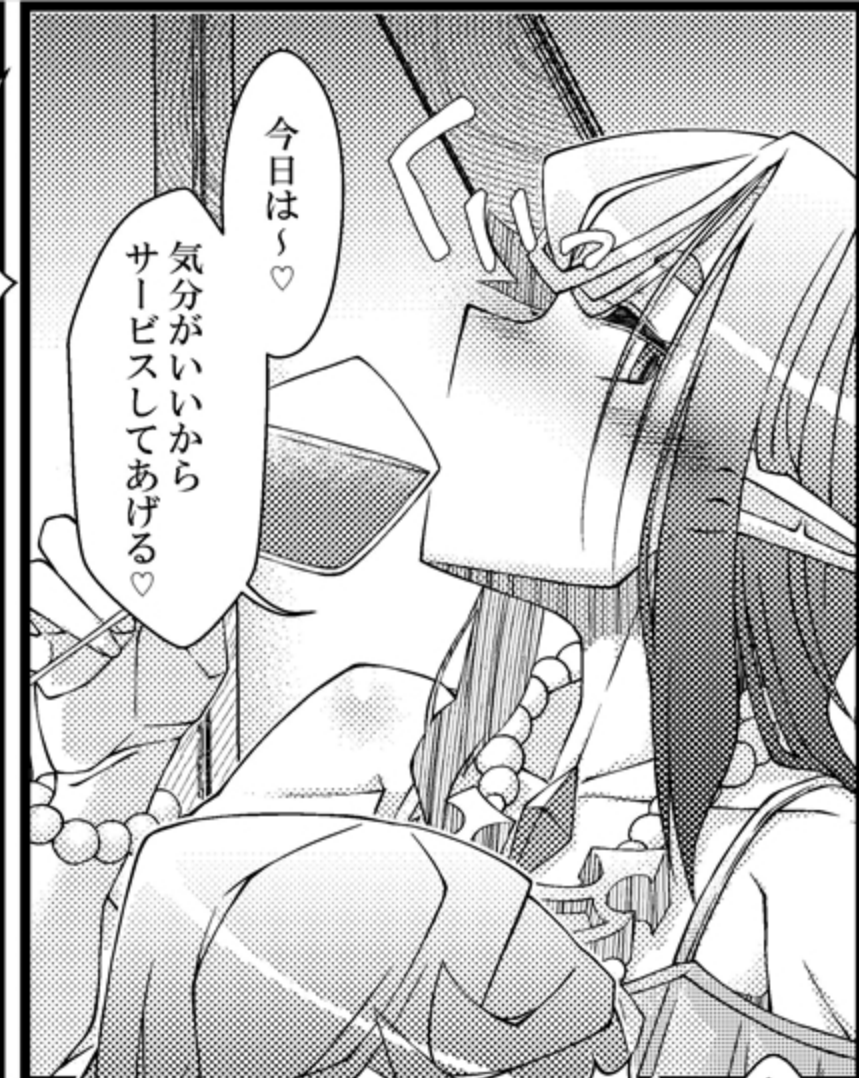
え……？
セ、セイラさんが
くっついてきたんじゃ……

そっ……それはあ……

まゆっ

でも……絡んでくる
蛇体がすべすべもちもちで
なんだかきもちいい……

あっ♡
さわさわ
んふふ♡
うっ……！



あががが……っ

はー

あなたコレ
好きだもんねえ♡

す——っかり性癖
捻じ曲がっちゃいましたねえ♡

でも今日はおも——つと
すごいわよお♡

んふ♡

胃の中
きつとすごいことにな
っちゃってるわよ♡

ほーら♡

私も今日はたくさん
飲んじやったからあ♡

にゅあぁあ

あぁ



ね♡近くで嗅いでみて♡

んっ♡

あんっ♡ちよつとお♡

んんっ♡

嗅ぐだけですよお♡

舐めちゃダメ♡
舐めるのはわたしの方よお♡

アルコールの凄い濃い香り…
頭がクラクラする…!!

これだけで酔って
しまいそうな…!!

ん——♡

やっぱり人間さん
おいしいわあ……♡

丸呑み♡
癖になっちゃってるの
わたしの方かもねえ…♡



せつないですかあ〜♡

早く吞んで
ほしいですよねえ〜♡

でもどうしようかしらあ？

さすがにココまでしちやったら
いつもの丸呑みでも
満足できなくなっちゃうかも
しれませんよお……♡

どうしますかあ〜？

い
お…

あはははは♡

ごめんねえ……♡

つらかったね♡

安心して…

全部食べて…♡

吞んで…♡

気持ちよくしてあげるから…♡

ぐ
ぎゅ…

ゴ
ガ
ン…

吞まれた……！

ド！

はぁい

ド！

あぁい

すご……！なにこれっ……！
うごめく肉壁が
身体中に胃液とアルコールを
擦り込んできて……！
かき混ぜられて……！

酔っているのか
身体が火照って……あつくて……
自分の体と密着している
セイラさんの肉壁との境界が
わからなくなってくる……

ふふ……♡

おいしいお酒と
私の胃液のカクテル……

じっくり味わってくださいね♡

ぐに……

ぐに……

ぐに……

ぬるる

ぬちゅ

ああ♡

また食べちゃった♡

なうでなで♡

あら♡またおもらし
しちゃいましたね♡

今日は人間さんは
私だけのもの……♡

今日はい——っばい♡
お腹の中でぎゅっつてして♡

可愛がつてあげますから♡

い——っばい♡

気持ちよくなってくださいね♡

END...

ここは
ラミアの里――

**メルちゃんは
搾りたい!!**

たんぽぽ隼丸

ねえおにーさん
いいでしょう？

フリフリ

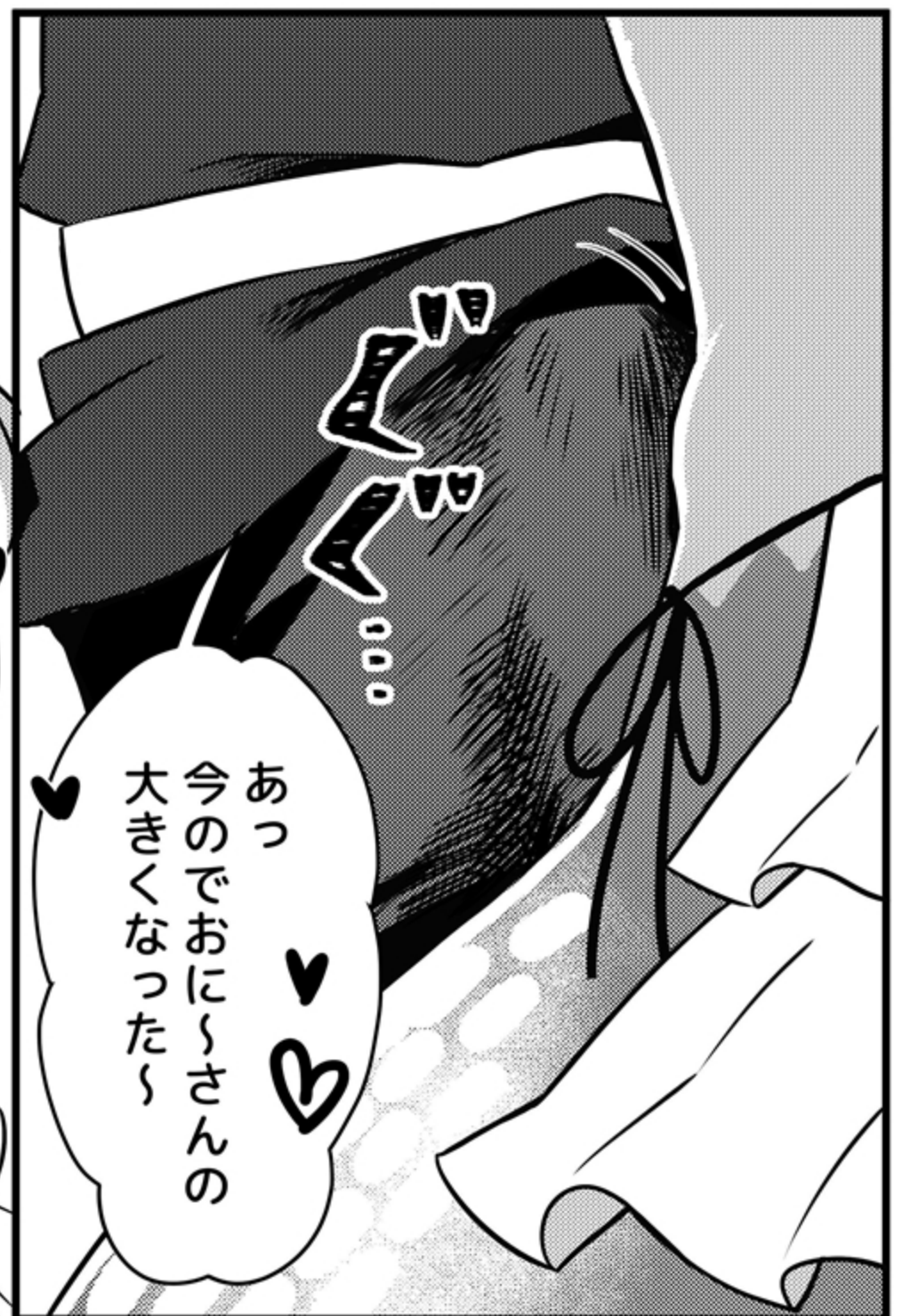
今日も私と濃厚ラブ
浮気セックスしよう♡♡♡

だダメだって
言ってるだるメル……

それもこんな
家の真裏でなんて……

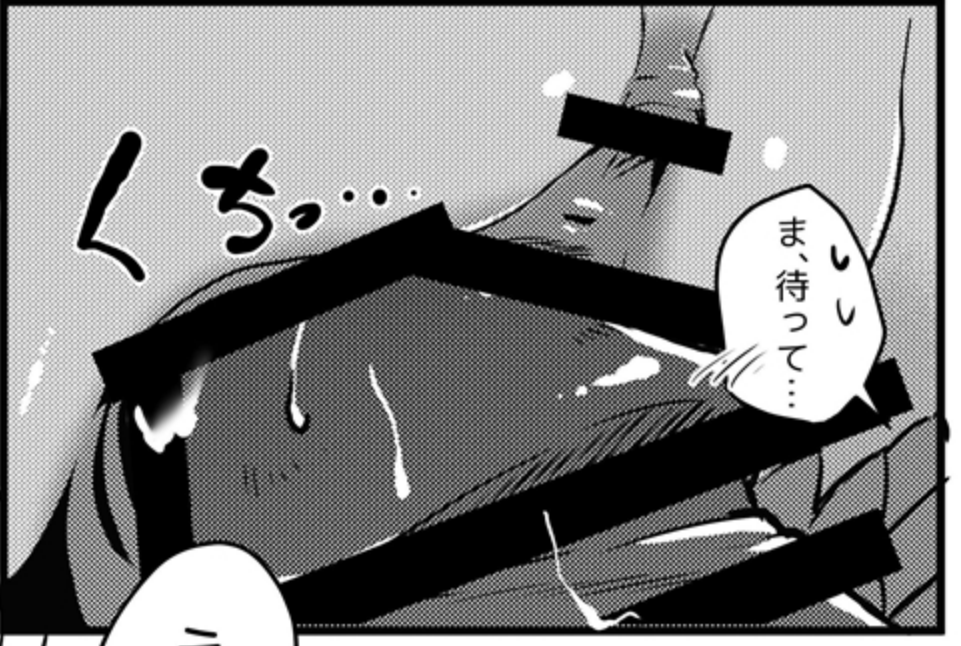
フラ姉えの前で
浮気セックスするのは
良いのに？

そそれは……





いっただっきま〜す♡







今のでまたおちんぽ
おっきくしてる〜

本当に救いようの無い
ド変態なんだから♡



ギチギチに締め付けながら
私の極上黒ギャルお●んこで
たっぷり搾り取ってあげる♡

う…ああ…♡

あはっ
情けない顔♡

おちんぽも
メルのお●んこ
きもちいいよって
涙流して喜んでるし♡

ぷりぷりお●んこの中で
浮気好き変態おちんぽ
すっごい苦しそう♡

もうイキそうだね？
快樂に負けちゃう情けない
おにーさん♡

あはは♡

ほらいけっ♡
極上黒ギャルお●んこに
敗北ザーメンどぴゅどぴゅ
しちゃえっ♡♡♡

うっぐっ
こんなの もう……ッ



沈没タワー

特訓だと？

ふむ…、
まあ唐突だが殊勝な
心構えだ。良いだろう。
我が鍛えてやる。

はい、
はい！



まずは精神面から
鍛えてやる。

ちゅっ♡

色気に惑わされず
しっかりと意識を
保て。

たぷ♡

さもないと
魔物に喰われて
しまうぞ。

ぱっ♡

うっ…、
いきなり
そんな…っ！

あ、
待っ…。







中にはこうして精を吸収し
自らの力として利用する
者もいるらしいな。

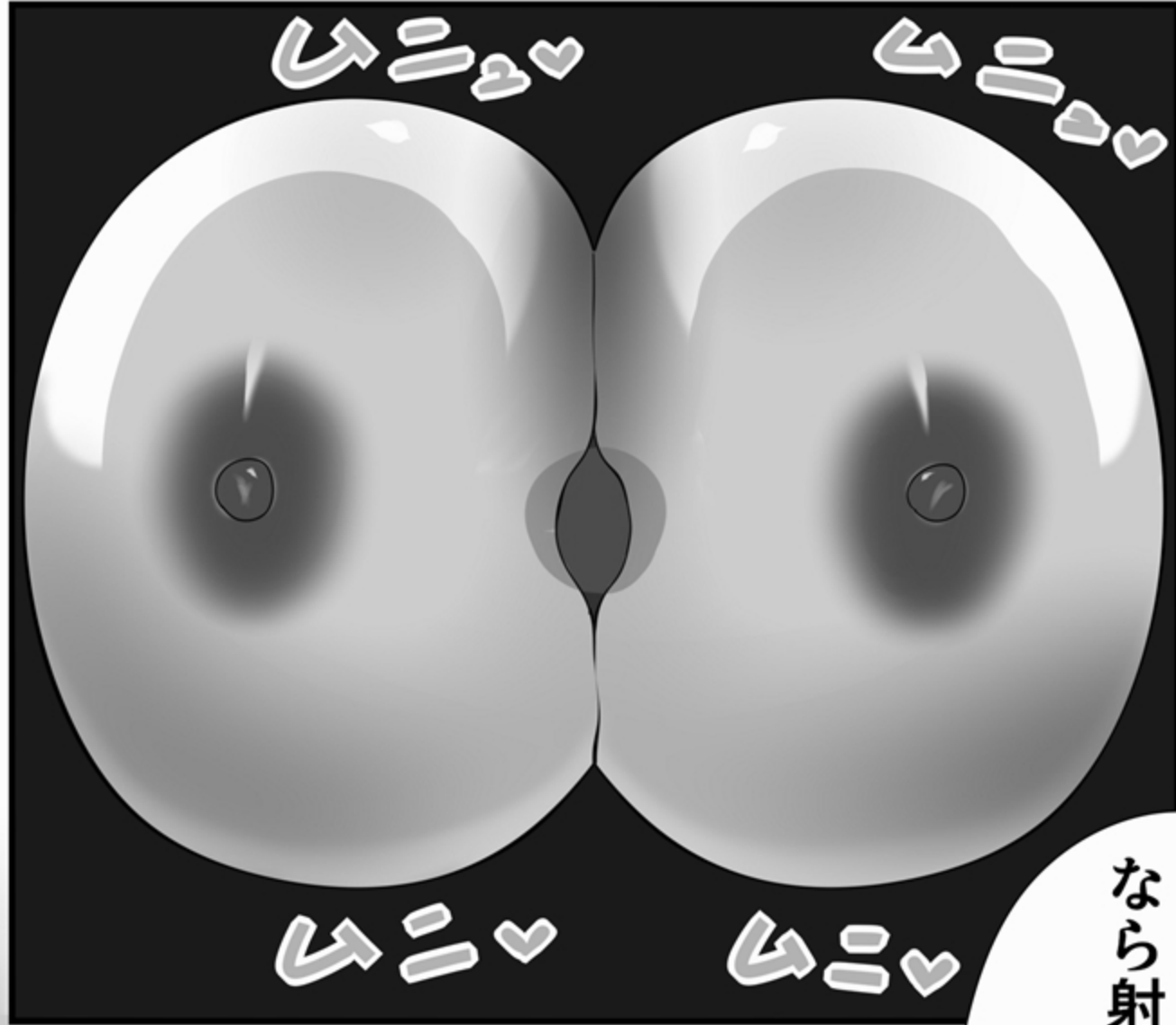


うあっ！



しっかり力を入れて
我慢せんと相手の
思うがままになって
しまうぞ。





んおおお…。

おっぱい柔らかすぎて…
おちんちんが溶けそう…！



もう限界か？
なら射精してしまえ♡



おっぱいにおちんちん
食べられちゃう…っ！

ビュ♡

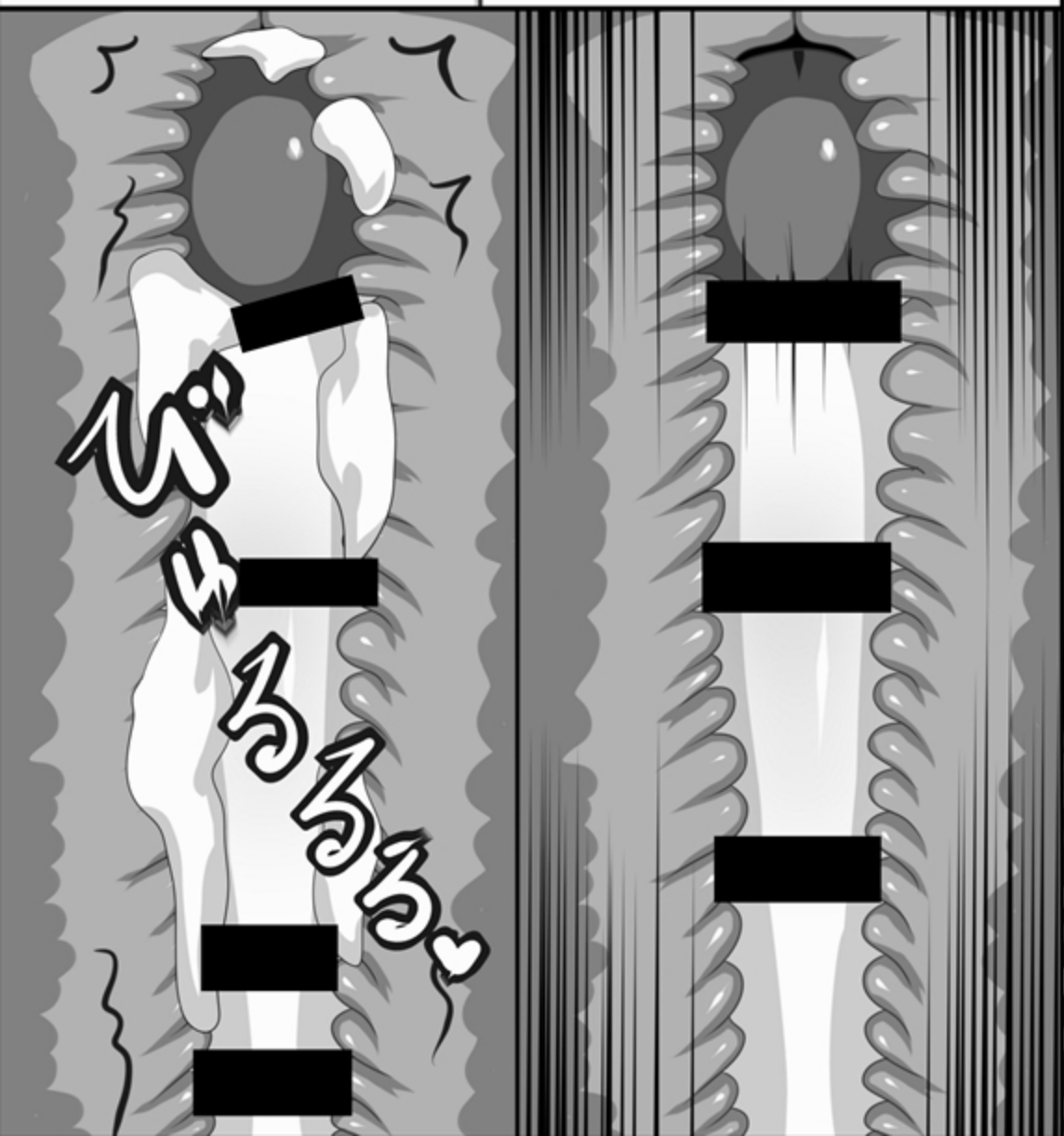


やはり弱者は
強者に搾取される
運命なのだ。



ふっ、
話にならないな。

これでは特訓などという
次元ではなかったな。



我を落胆させた
罰として、

気を失うまで強制的に
腰振り搾精だ。

汚した胸もしっかり
掃除しながらな。



ふんっ。
量だけは立派だな。



色気に惑わされる程度の
脆弱な精神では強くなど
なれんぞ。まずやるべき
はその煩悩を全て吐き出
すことからだったな。
安心しろ。根こそぎ搾り
取ってやるからな♡





れろろ♡

…で元に戻る為の
材料に精液が
必要とのこと…

う…あ…♡



!?

ベリルの実験に
付き合ってたなら
体が小さくなった。

ベリル…♡



…

ラミアの里

～シヨタ編～

たらんこぶ



ベリル…♡

どろ♡

どろ♡

どろ♡

どろ♡

どろ♡

どろ♡

こんなことに
なっている





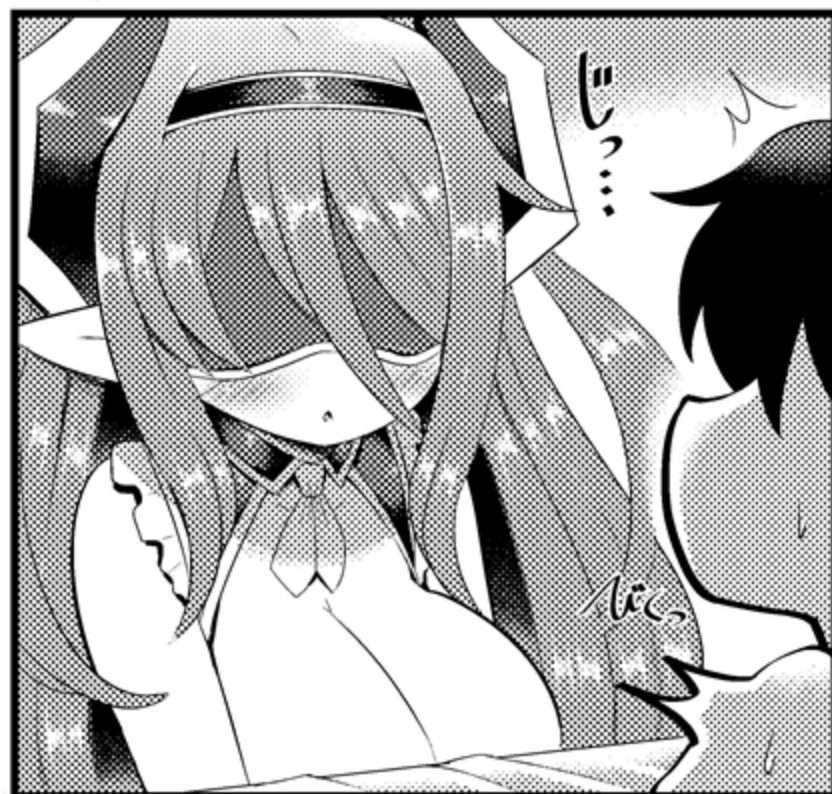
ふ

ふ

...お

あ...

犯して...
ベリル...っ♡



↩ next...

ベリルのことは
...やっぱり
よく分からない

ベ...ベリルっ
いきなり...

それでも少しだけ
彼女のことが
分かったような...
そんな気がした

はああ…

それでそんな
お姿に…

ラミアの里

～シヨタ編2～

元の姿には
戻れるみたい
なんだけど

皆から色々と
からかわれちゃって
大変なんだ…

こっ…
子供の
おちんちんって

ど…どう
なってるんで
しょうか…?!

でもアーシャ
なら安心だ…

あ…
あの!!

ぼん

!?







ぽん♡

ぽん♡

はげし♡

アーシャ♡

びっ♡

びっ♡

はげし♡

はげし♡

はげし♡

はげし♡

あ♡
あ♡
あ♡

にゅる♡

むち♡

ぶっ♡

びっ♡

はげし♡

はげし♡

はげし♡

はげし♡



私ったら
また一人で
勝手に……っ

すすす
すみません!!



もしかして……



いやあ……
大丈夫だよ

その……人間さんの
子供を見るのが
初めてで……っ



ちなみに元の姿に
戻れたのは
大分先になっての
ことだった。

ベリルさんも
小さな旦那様に
興味があつたの
かもですねー

うーん……
どうだろ……

おしまい





..ぱんぱん
すごいえっちな
おとしてるよ...?
きもちいい...?

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん♡

ぱん♡

んち

んち♡

んち

お..おっぱい
きもちいい...っ

んちい...♡

ぎゅ...

ぎゅ...♡

くっは...っ
なかだし
乳内射精っ♡

どく..
どく..♡

どっぴゅ...♡



にゅっ

ほんっ

ふっ
うっ
……

びん

びゅ

あ
……

どぶ

どぶ

びゅ……

のあのおっぱい
おにーさんのもの

…おにーさんもの
あのおっぱいの
もの…

はぁ

はぁ

ぐいっ

はぁ

くっ

はぁ

ラミアに
毒若巻が
われない!

きぬたころね

ラミアの里で
唯一の男として
彼女達に共用され
精液を絞られ
続ける日々……
彼女達とのセックスは
確実に僕の中の何かを
変えていっていた……

絶頂するほど
感じるようになって
いた

もうでるっ……
イクっ!

クーラの激しい
巻き付き……
胸骨が悲鳴を
上げるほど
なの……

いっ
イクっ!

男としての
矜持は
ないのか?

もう我慢
できないとはな

本当に
情けない
男だ

イッて
しまえ

ギゅっ

陰茎に触れても
おらぬのに
精液を撒き散らす
とはのう

人どころか
畜生未満の
オスにすら劣る
無様さだな

有る

締め付け
られただけで
精液をヒリ出す
精子袋：

お前のことだ

無意識のうちに
彼女たちの
獲物としての自覚が
芽生えてしまった
のだろうか



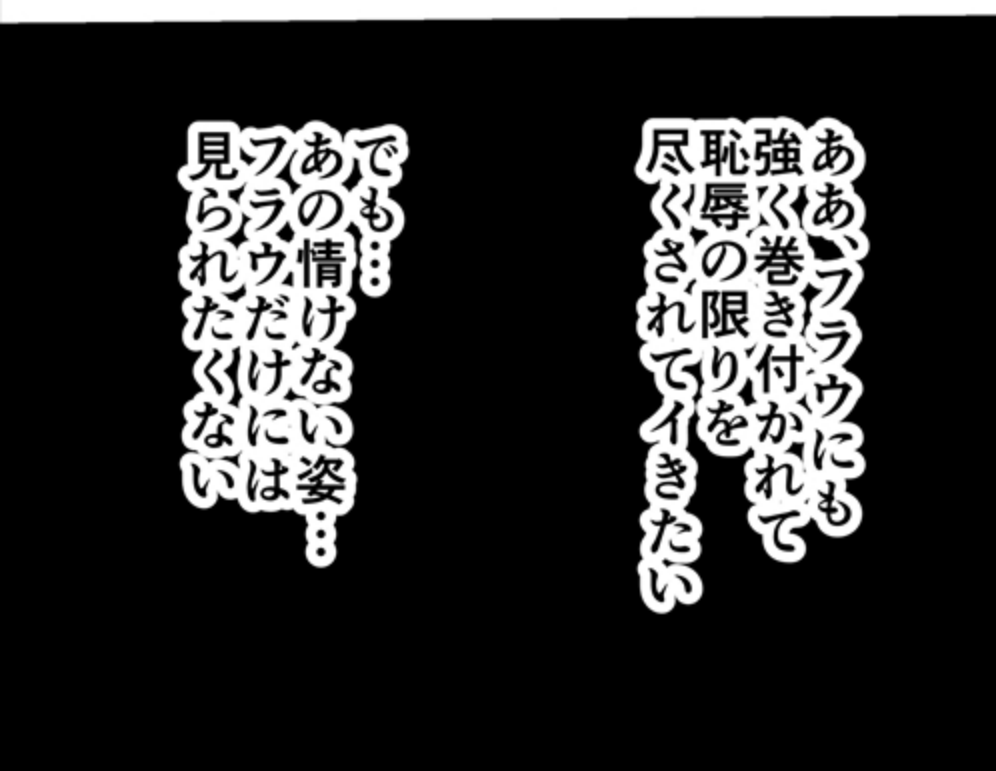
後でアーシャも
来るそうです

今夜は三人で…
お楽しみですよ…



おかえり
なさいませ…
旦那様

愛しい妻が…
クーラの前で
痴態を晒した
僕を優しく
出迎えてくれた



ああ、フラウにも
強く巻き付かれて
恥辱の限りを
尽くされていきたい

でも…
あの情けない姿…
フラウだけには
見られたくない



そんな僕の決意は
彼女に抱かれた瞬間
容易く崩壊した

気に病むことは
ないのでしょ…

旦那様には望む
射精をする権利が
あるのですから

フラウは涙ながらに
打ち明けた僕を
受け入れてくれた
そして…僕は



フラウの前で
股を広げ
あられもない
姿を晒して
いた

フラウの舌が
腹の中を這い
回り
扇動する度
に
かっつてない
悦びを憶え
てしまう

あぁっ
あぁっ
あっ♡

うぁぁ
あっ!
あっ!



でてるう♡
ううっ!



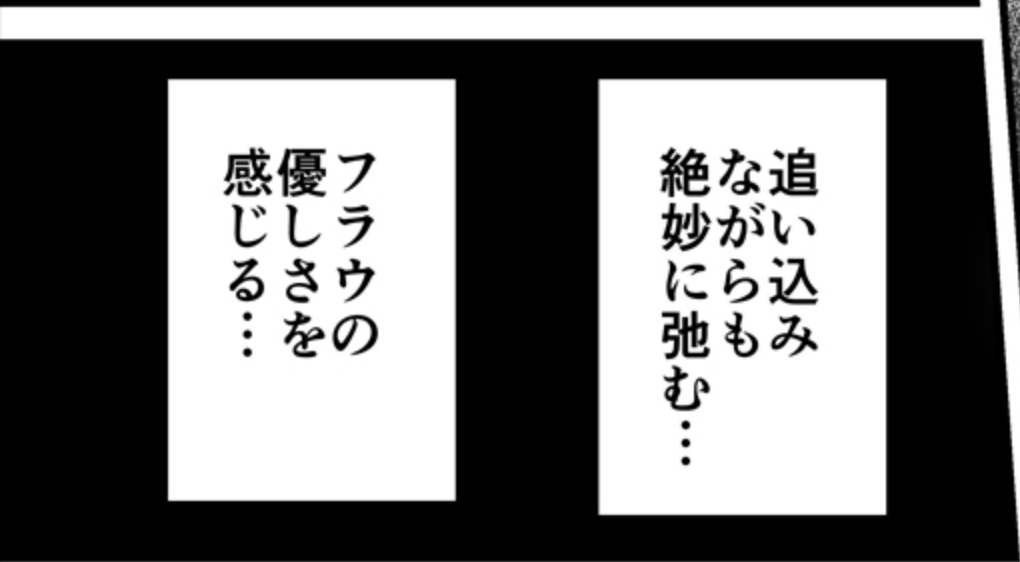
さすが旦那様のアナル…
ラミア妻の長舌責めで
触っていいおチンポ様まで
お喜びです♡

フラウうっ♡
ひぐうッ
ううっ!



愛しい妻の
抱擁に
カラダが
軋み悦ぶ...

気持ちいい...



追いつかぬ
絶妙に弛む...

フラウの
優しさを
感じる...



おっぱいと
おまんこも...

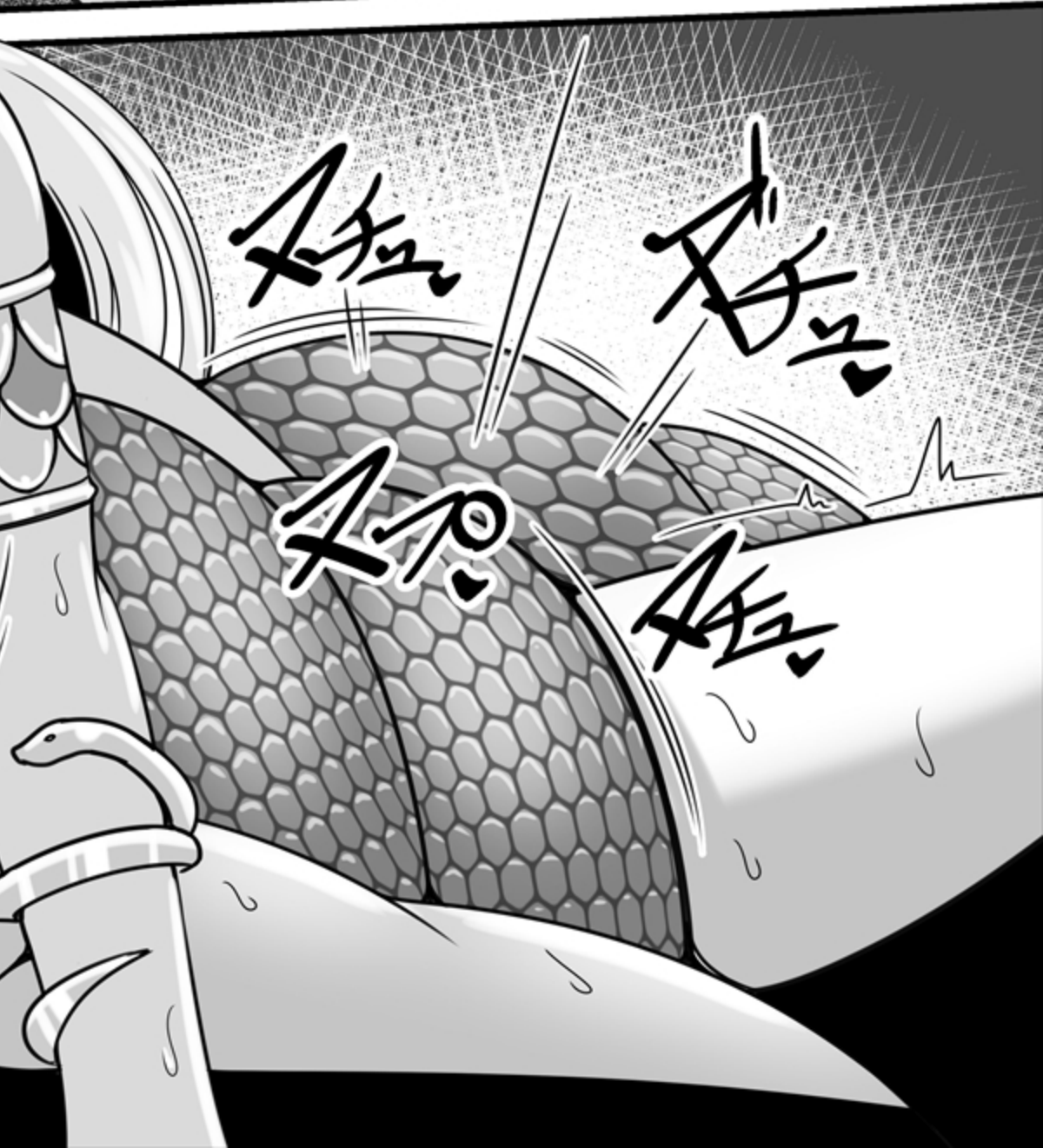
ぎゅーって
してさしあげます...



若妻の尻尾に
巻かれて
挿入されて
いるんですよ...

旦那様の
ラミア好き
おちゃんぽん♡

ズンッ♡
ズンッ♡
ズンッ♡



ズンッ♡
ズンッ♡
ズンッ♡
ズンッ♡

また固く…
なりましたね…

旦那様は
アーシャの
大好き…
大きいおっぱい

あれ
こうして
みると…

フラウの
おっぱいも
おおきく
なりましたね♡

それは…
旦那様に
そう望まれ
揉まれたから…♡

二人のおっぱいに
包まれてイクッ！

旦那様の
ざあめん…

前よりも美味しく
なってます♡

愛しい妻と
日々を送る
幸せ…

妻とラミア達に
巻かれ搾精
される悦び…
この里に
来てよかった…



旦那様も
皆に揉まれて
吸われて…
すっかりトロトロ…

どんどん
ラミア好み
のオスになっ
ていますよ♡

私達自慢の
旦那様です♡

おしまい♡





あ...ああ...
おちんちん
抜けちゃったあ...

あ...おまんこから...
君の精液がどんどん
溢れて...んっ♡

ダメ...やだ
止まらない...

はあ...ああ♡



ごめんね...
折角たくさん出して
くれたのに...

...次は今よりもっと
がんばって腰振って
気持ちよくして
あげるから
許してね...?

きゅーって
おまんここの
お肉しめて...

ぬふぬふ...
ぬふぬふって...
ふふっ♡

だからホラ...
このとつても
素敵なおちんちん
私の中に入れて...

溢れちゃった分
また子宮の中に
補充して...?



……
あれ？
あまり嬉しそうじゃ
ないね……？

どうして？

もしかして……
イヤなの？

ううん……
そんなわけ
ないよね？

……ありえないよね？
嫌なハズ……
ないよね？

だって君はこんな風に
私とエッチな事をしてひとつに
なりたかったんだものね？

やうあ……

きんきん

スウ……

んんん

スト……

私の事が気になって……

体を触りたくって……
私と交尾したくって……

テフ
テフ……

キラ……
キラ……

キラキラ

ズズズ……



スト……スト……

だから君はあの時
あんな風にしつこく
私の後をつけてきた……
そうだよな？

だったら沢山エッチな事
出来て嬉しいハズ……だよな？

あの……私を背後から
舐めまわすように見てきた
君の……熱い視線……ふひっ
ステキだったよお♡

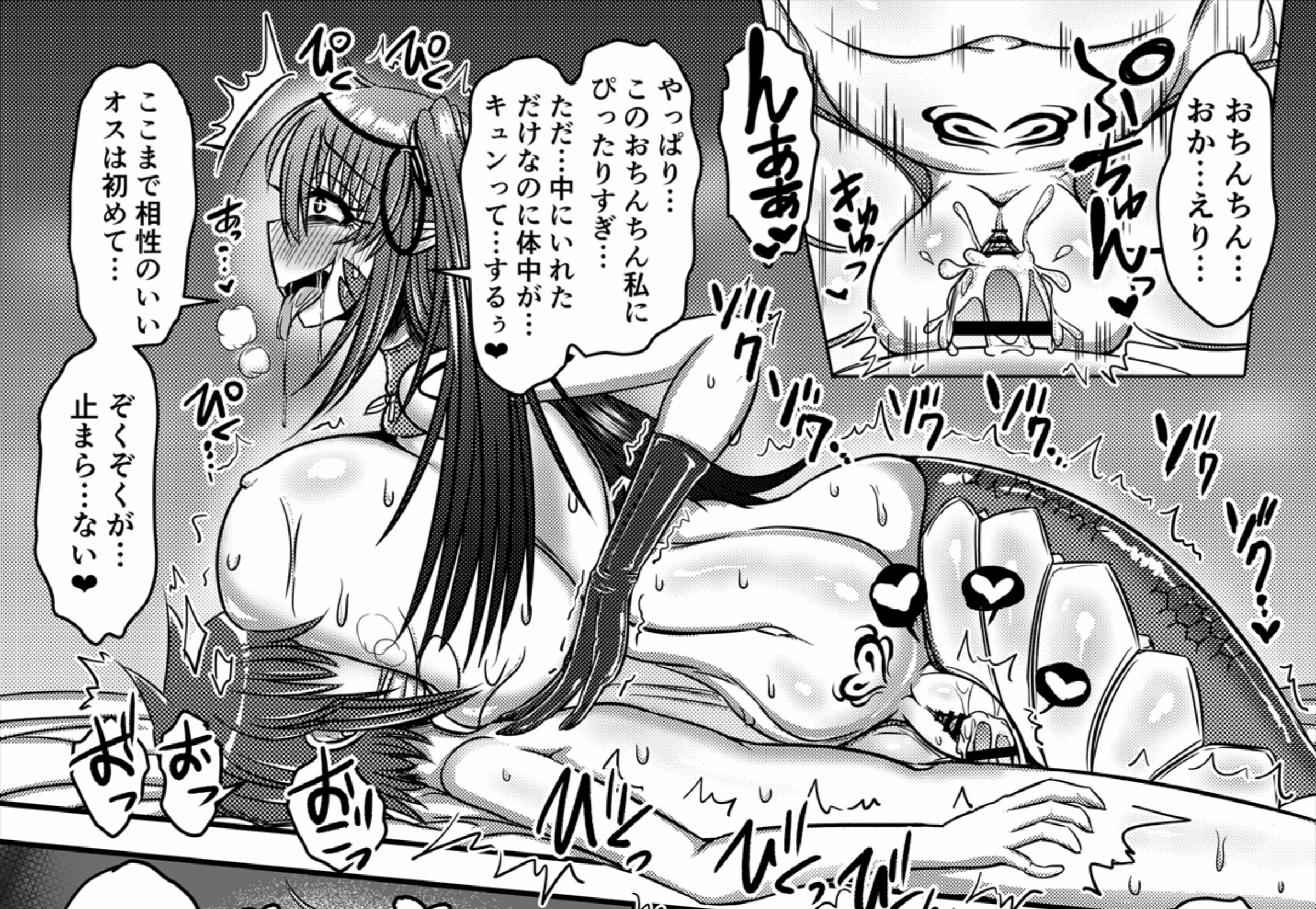
あはあ……

思い出しただけで……
またドキドキしてきちゃう♡

キラキラ

キラキラ





おちんちん…
おか…えり…

おちんちん…

んあぁ

やっぱり…
このおちんちん私に
ぴったりすぎ…

ただ…中にいれた
だけなのに体中が…
キュンって…するう♡

ここまで相性のいい
オスは初めて…

ぞくぞくが…
止まら…ない♡



それに…んっ♡
伝わってくる…

繋がった体を通して…

君の…私の事が本気で
好きなんだって想いが…
とっても伝わってくるよお♡

嬉しい…嬉しいよお
私もその想いに
いっっぱい
答えるからね♡

媚薬の効力で
いつまでも力チカチの
そのおちんちん…

私が体中で
何度も何度も
愛してあげるからね…
ふふ…ふふふ…♡



1時間後：



6時間後：



12時間後：



24時間後：

ぱんぱんぱんぱん

この感じ…またっ出るのね♡

あーん

あら

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ニギミ

ニギミ

ニギミ

ニギミ

はっはっはっはっ
はっはっはっはっ
はっはっはっはっ

はっはっはっはっ
はっはっはっはっ
はっはっはっはっ

はっはっはっはっ
はっはっはっはっ
はっはっはっはっ

あらん

あらん

熱いの♡
きてる♡

精液…私の中に…
また…きてるう…♡

し…
しあわせえ…♡

トロキ…♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡
ちゅっ♡♡♡♡♡

もう…私たち…
何回ぐらい
こうして…るのかな？

時間どころか…
日にちも…

もうよく…
わかん…な…

でて…るう♡
また…ああ♡

大好きな人に
中出しされるって…
本当にしあわせ…♡

気持ちよくって…
体中が満たされて…
頭の中が壊れちゃいそう



壊れる…
ふふ…ふふふ…

ねえ…
このまま…2人で
壊れちゃおっか…

2人で壊れるまで交尾して…
幸せのまま一緒に死ぬの…

いい考えかも…
君も嬉しいよね？
だって私と1つになる事が
君の望んでいた事…
だものね…？

大丈夫…
君に負担はかけないよ？
今まで通り体のすべてを
私に任せてくれていれば
いいだけだから…

うん…決まり
楽しみだね…
ふふ…ふふふ…♡



HAPPY
END…?

ん…?
いつもと違う天井…
ここは…?

動けない…
巻き付かれてる
のか…?

おに…さん♡
誘拐しちゃったあ♡
パコローよ♡

この声は…
メル!?

浮気ラブラブ
セックス♡♡

浮気は…
だめえ♡

フラウ的には
問題ないと思
うけど…

こ…んなちゃんぽ
バックバキにさせてえ♡
ちゃんぽは
喜んでるよお?♡

くっくっ♡

じゃあ
いただき
まっす♡

負けるわけ
には
いかない…!

あああああ♡
あああああ♡

ん♡
あれえまだ
おまんこ入れた
ただだよお♡♡

あ、またあれやろう♪
30往復おまんこパコ♡
耐えられたら
それ以上は
やめてあげる♡

次から
2回目♡

メルに負けないっ!!

漫画 むにおに

そんなあ♡

よんっーろくっー♡

メルが勝ってそのあと
おにーさんとお♡
浮気ラブラブセックス
するんだからあ♡

じゅっ♡お♡

にじゅうごおー♡
おにーさん耐えるねえ♡
早くイッた方が楽っしょ♡

フラウ♡
ごめんっ
だめかもお♡

そうそう
イっちゃいなよ♡

無理っ
むりむり♡
むりい♡

あめっ♡

さあーんじゅ♡

ああああっあ
あああああっ
イクううううっ♡♡

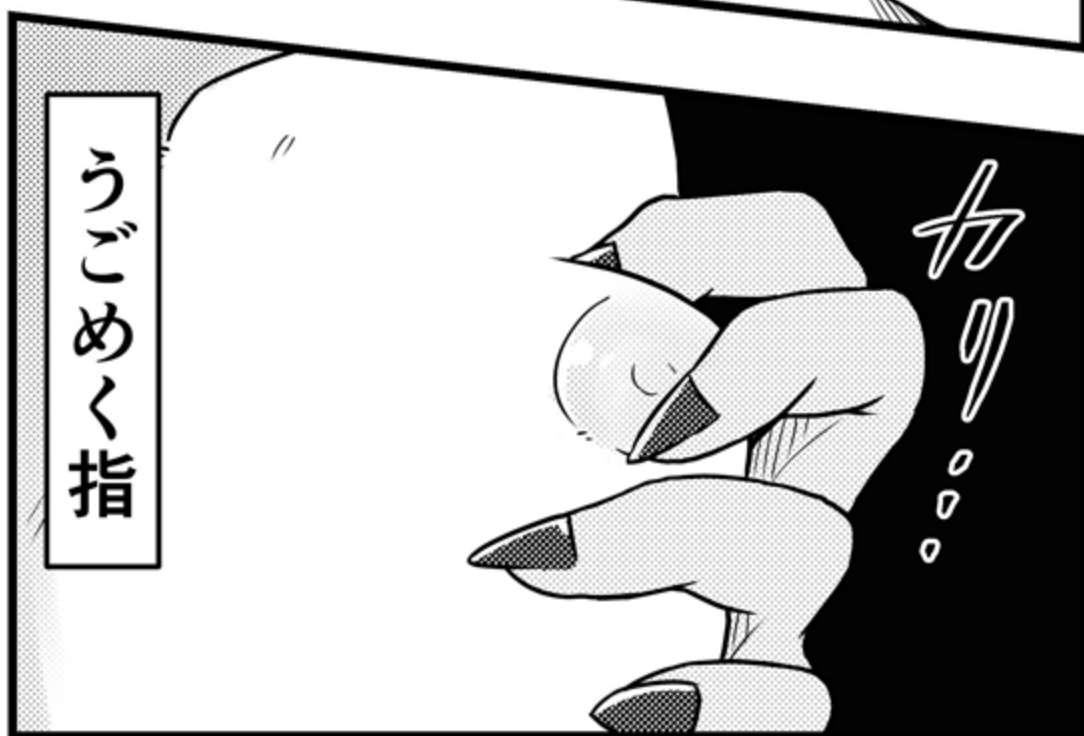
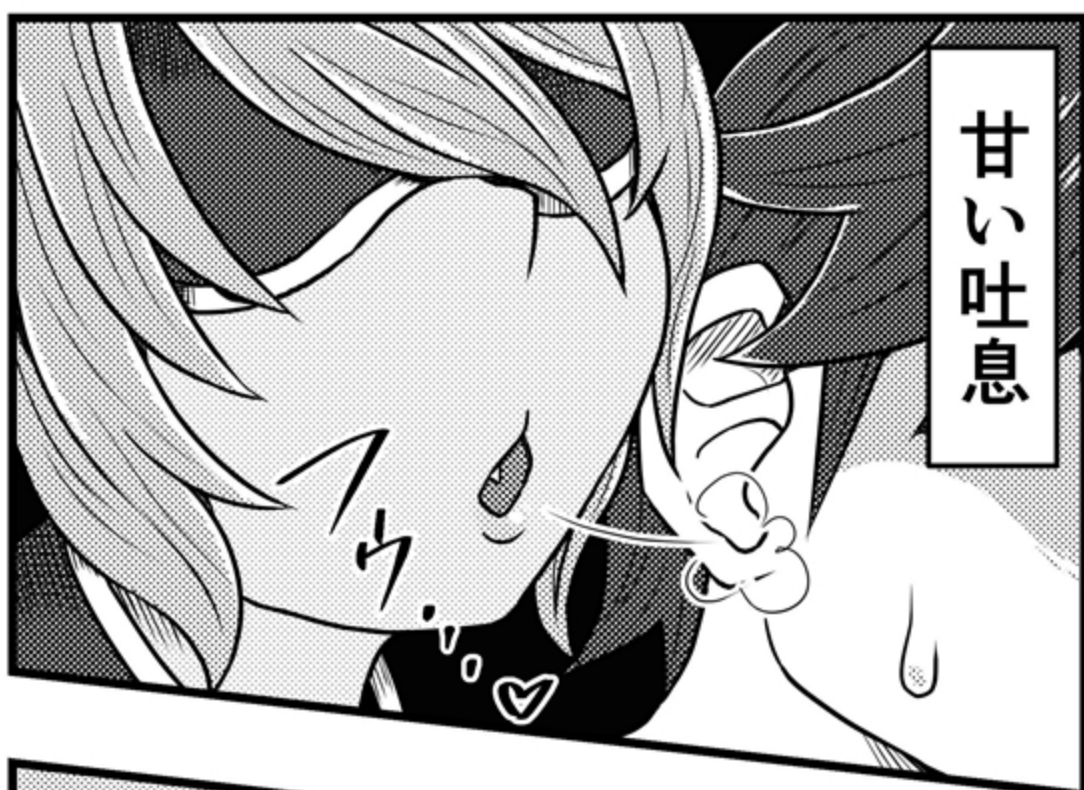
あはは♡イっちゃったあ♡
膣もそんなに
締めてないのに弱すぎ♡

おにーさんの負け♡
約束は守ってもらっ
かんねえ♡

ごめんフラウ…
勝てなかった…
もう少し
だったのに…♡







『ステキな金縛り』/ K 2





温かい舌がっ——♡



身動きが取れないっ……

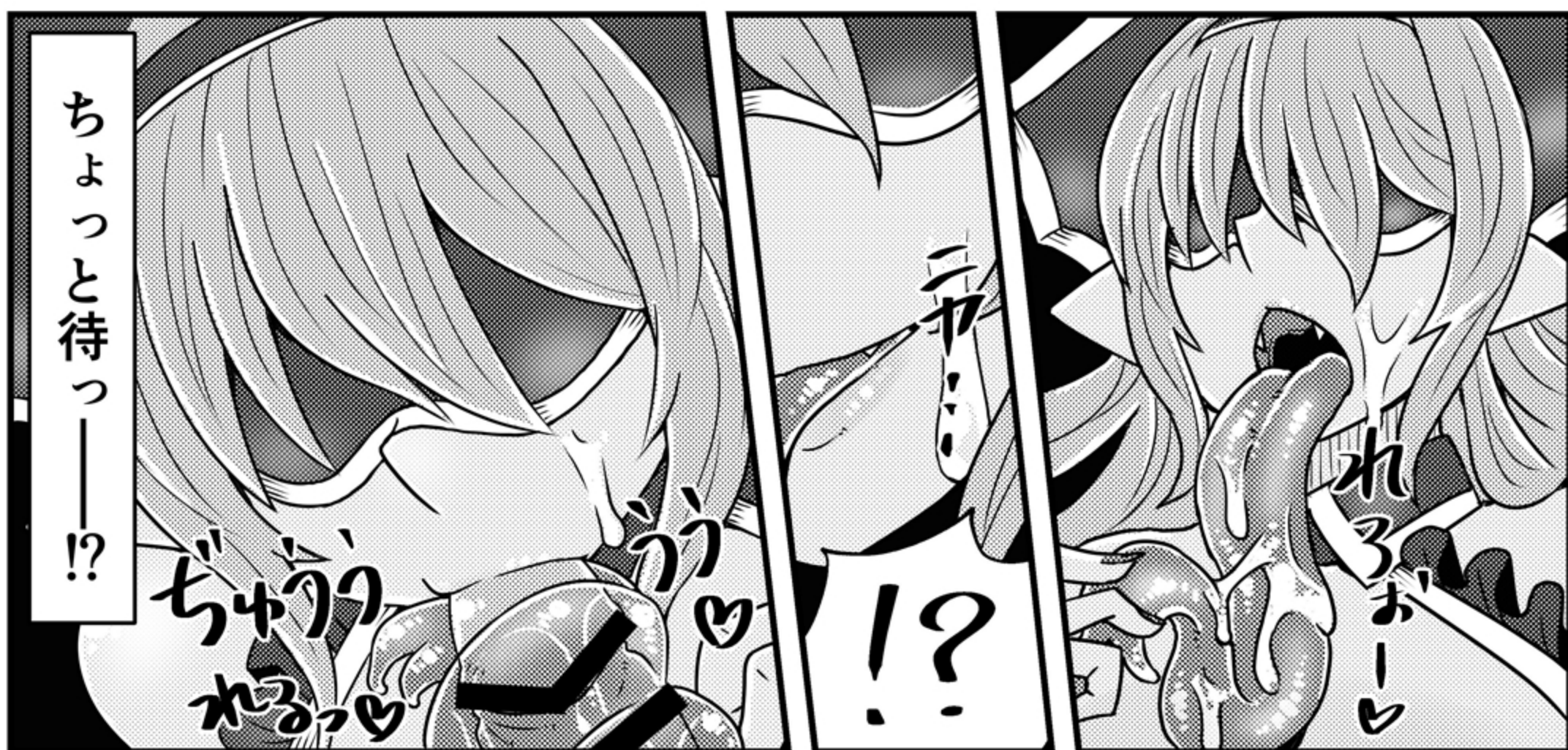
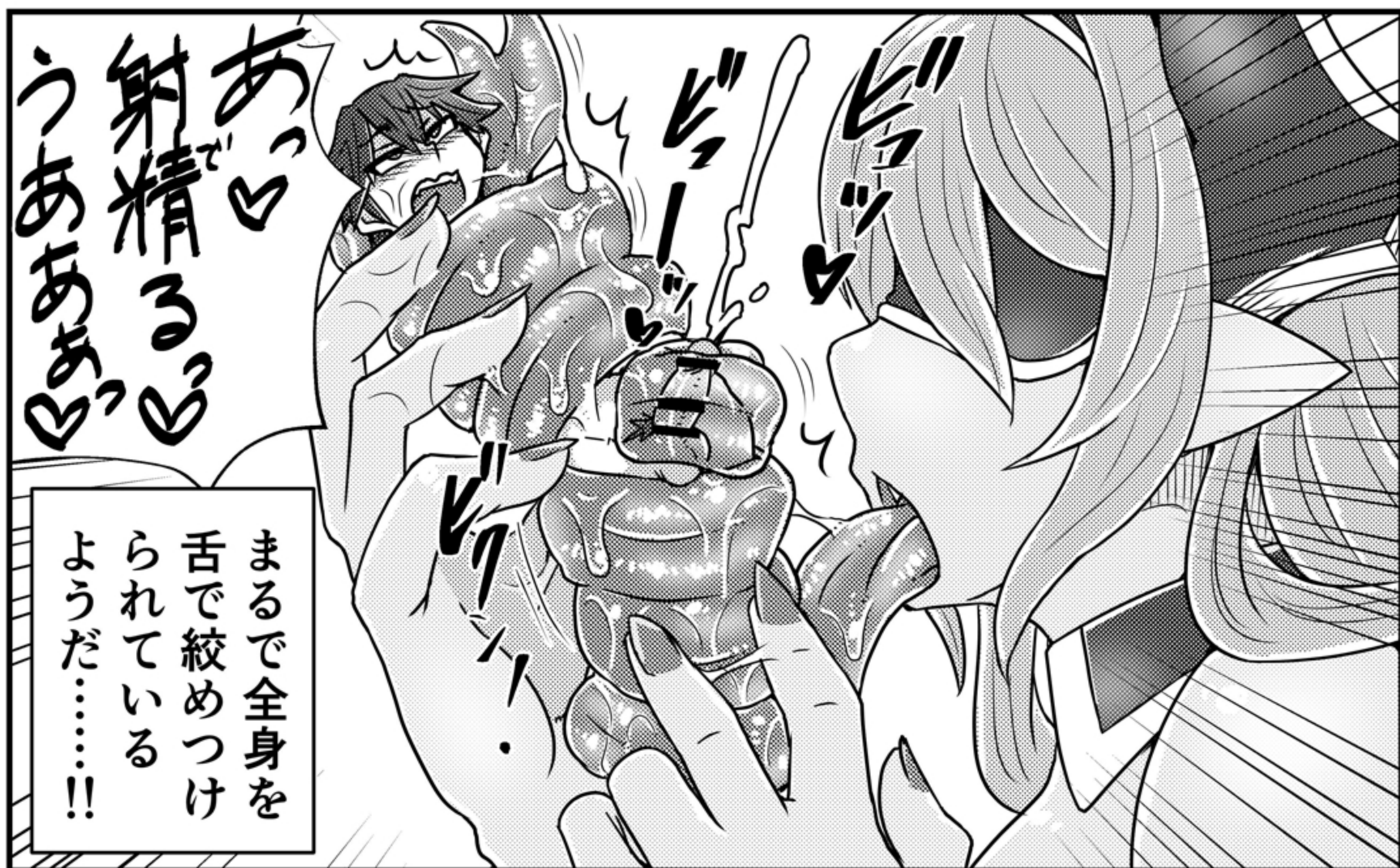


だんだん舌の動きと

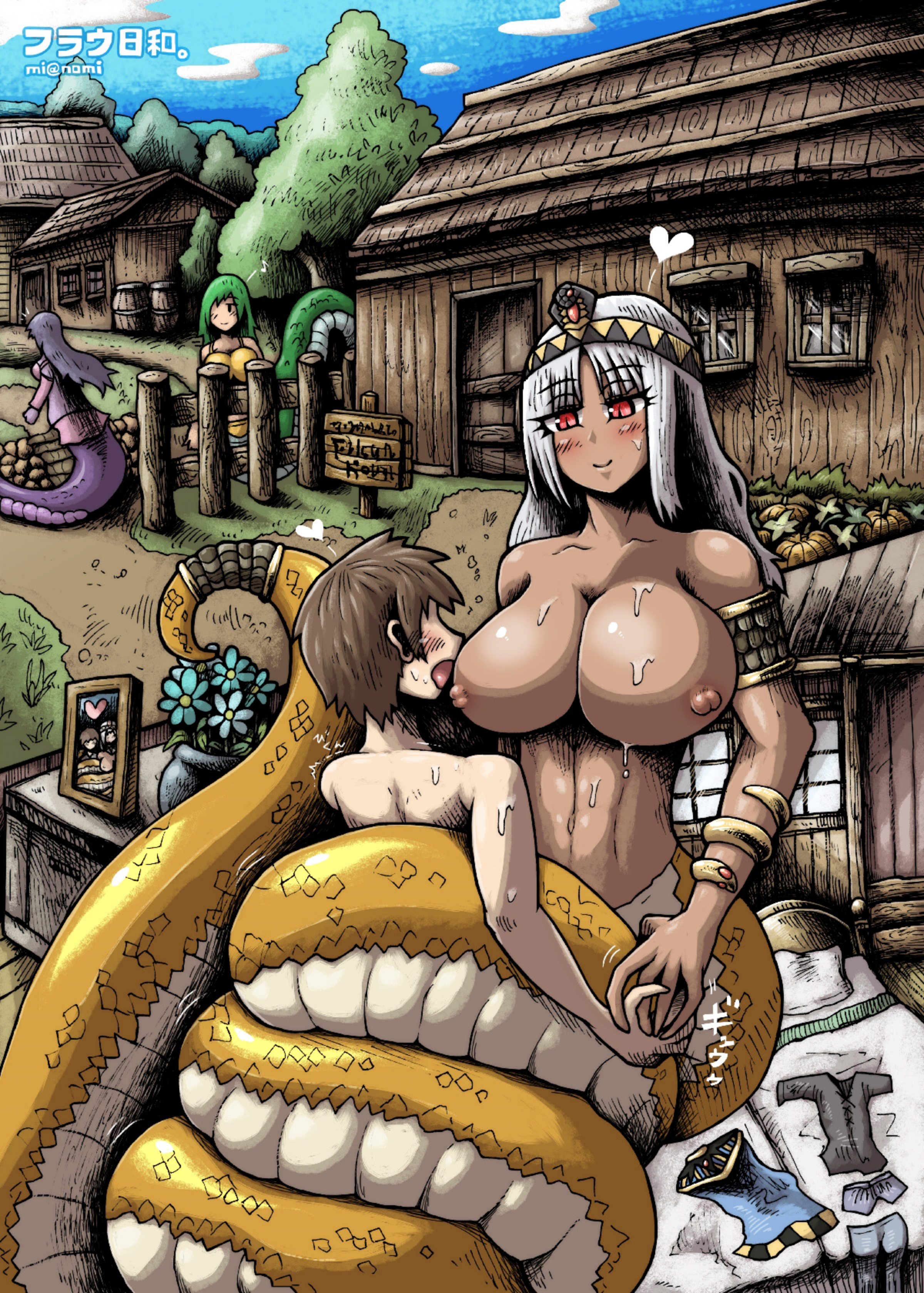
絞めつけが強くなってきてるっ♡







END





七

ん！♡
ぢゅるる

にゆるるん

あ

51



二二二二



はいめて
旦那様を丸呑み...
ドキドキ

ではそろそろ
まるのみえっち
始めます...

蛇のようにずるずると
旦那様を丸呑み...

あ

パク

ブルブル
ゴクン

ん

旦那様
を丸呑み
して
いただきます

旦那様、
私のお腹の中は
いかがですか？

ハイ

+デ
+デ

じゅるじゅる
にゅるにゅる
私の中で旦那様が
びくんびくんしているのが伝わりますよ。

呑
じがうぞ

明日は村長も交えて
丸呑みえっち
しましよう。

E
N
D



セイラさんの胎内では できないこと

by abc-pauler

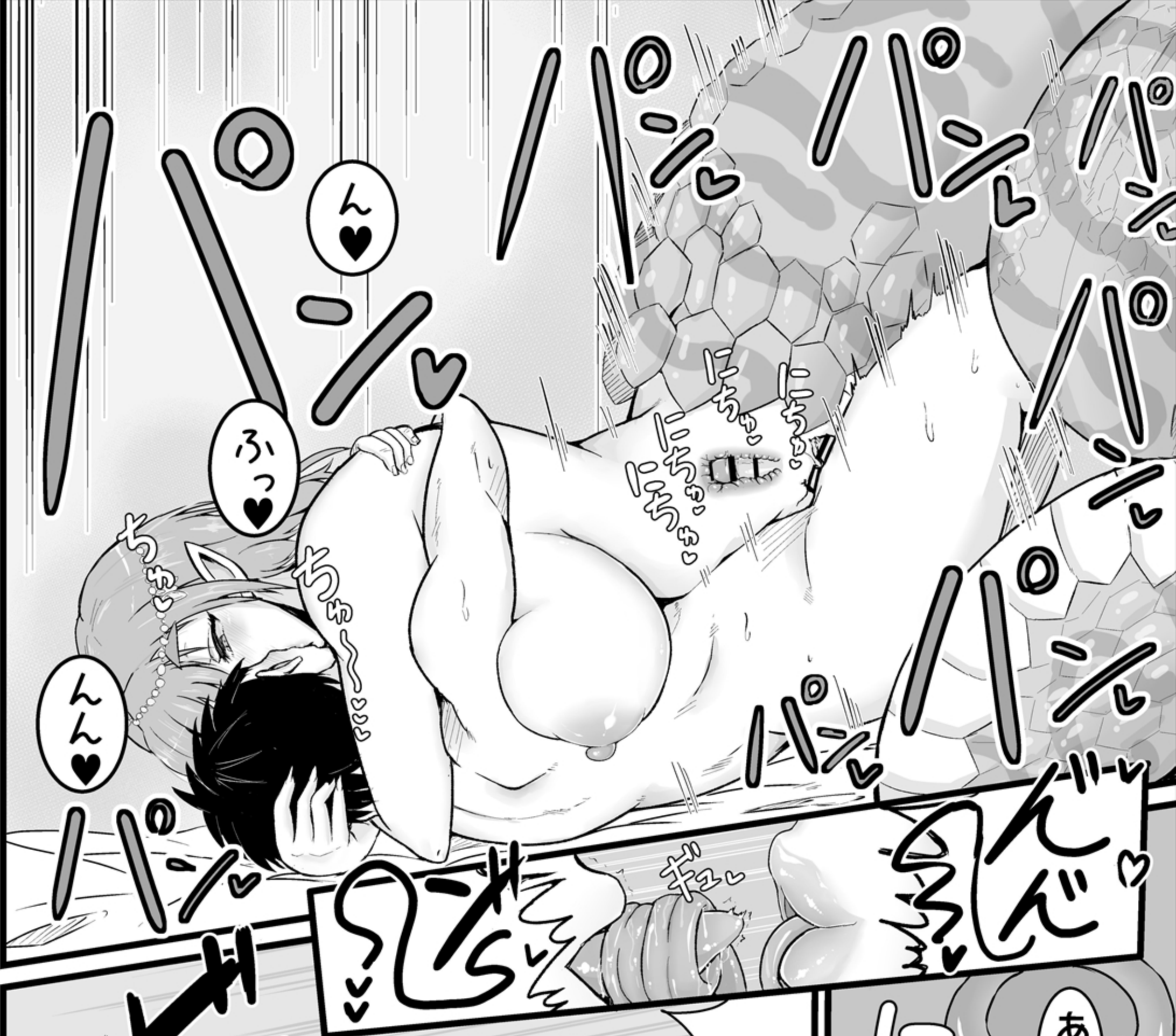
うふふ〜♡
今日はどうしたんですかあ
丸呑みではなくて
普通のHをしたい・・・なんて

まあ、私もたまには
体外で食べちゃうのも
いいと思いますけどね〜♡

せいらさん・・・
早く犯してえ♡

あらあら、お預けさせて
しまったようですね〜♡♡
はいはい
たっぷり搾ってあげますよ〜♡





行ってらっしゃいませ
旦那様……

ハーレムライフの
はじまりはじまりです

……フラウと出会って
ここにきて

色んなラミアさんと
関係を持って……
随分経ったなあ

モブ・ラミアーズ

作・ぽしゅ氏

しかしこんなに沢山の
ラミアさん達に
好かれるようになってしまっ

ちよつと里に出たら囲まれ、
求められるようになってしまった
いや、めっちゃ嬉しいけど

この里のラミアさん
みんなかわいいん
だよなあ

今日もいっぱい
しようね！

ちよつとお
順番だからね！

もう
皆で迫るから
軽く困ってる
じゃない

あああー
今日も絞られるうう

ちよつ！
自分で歩くから
放して(汗)！

ズルズル

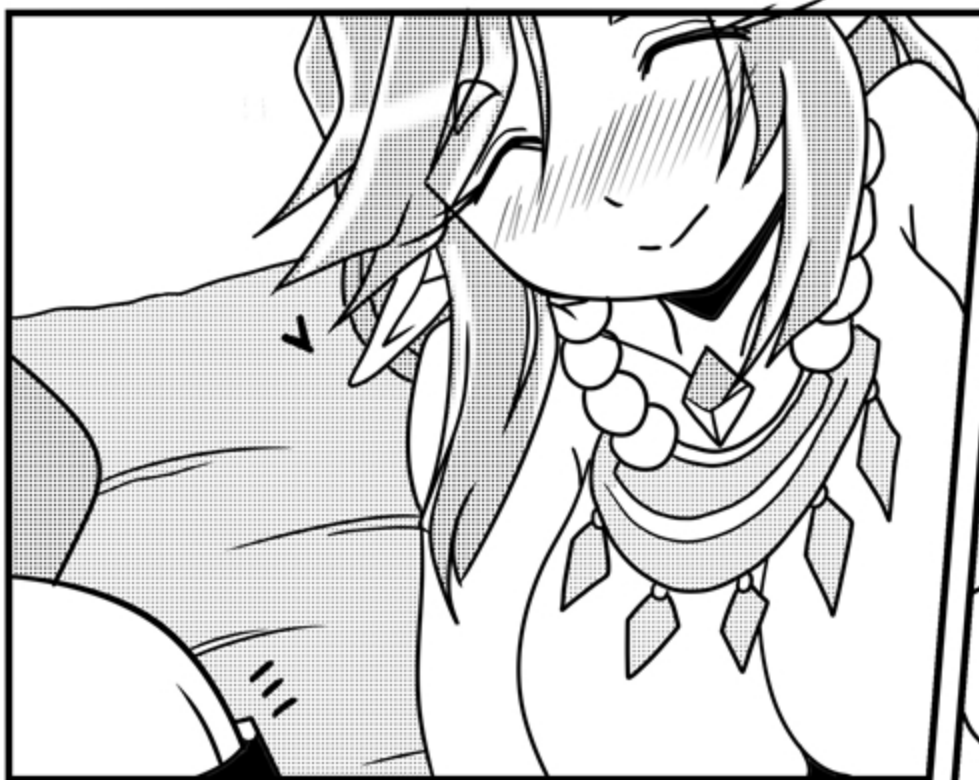


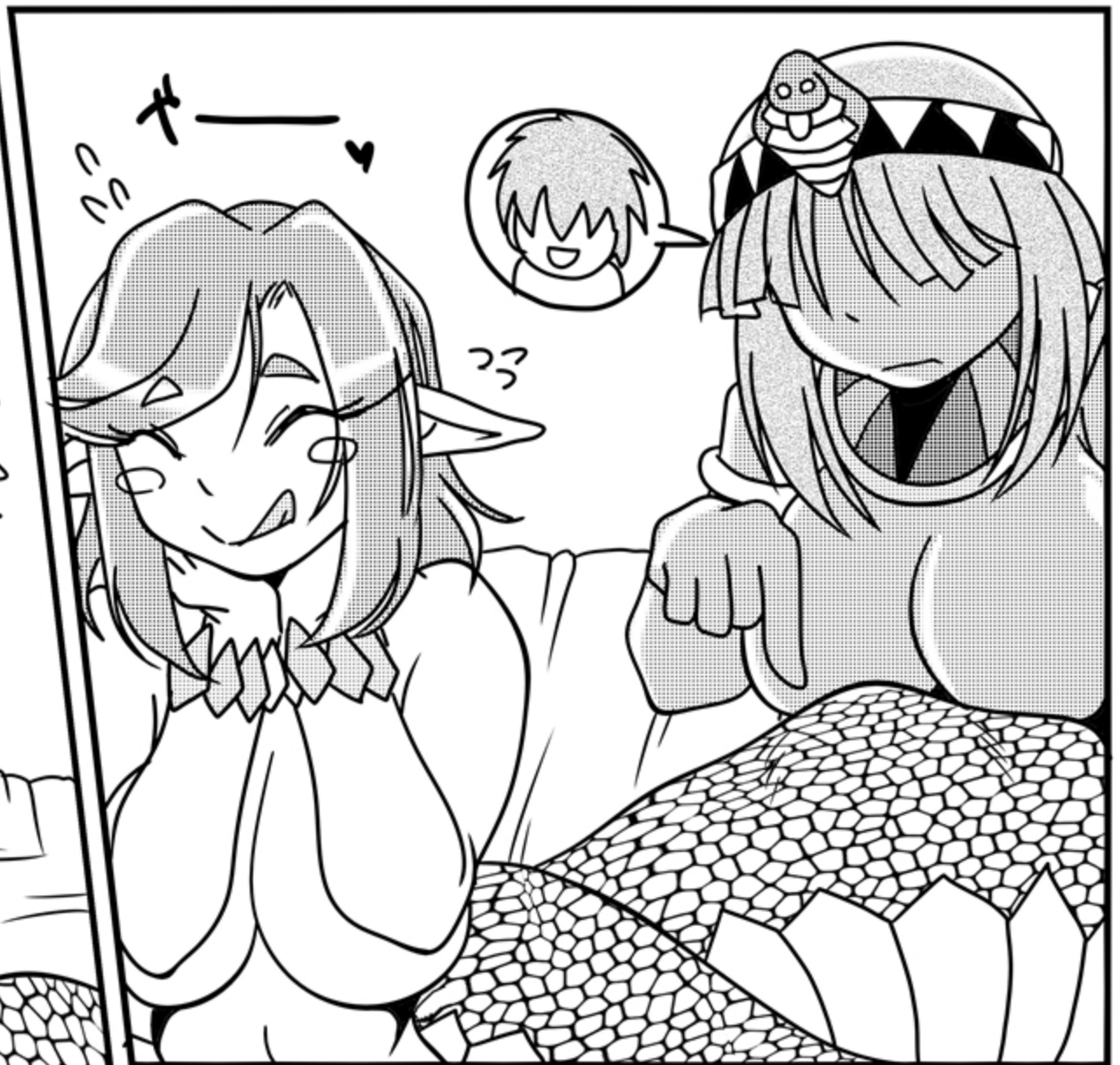
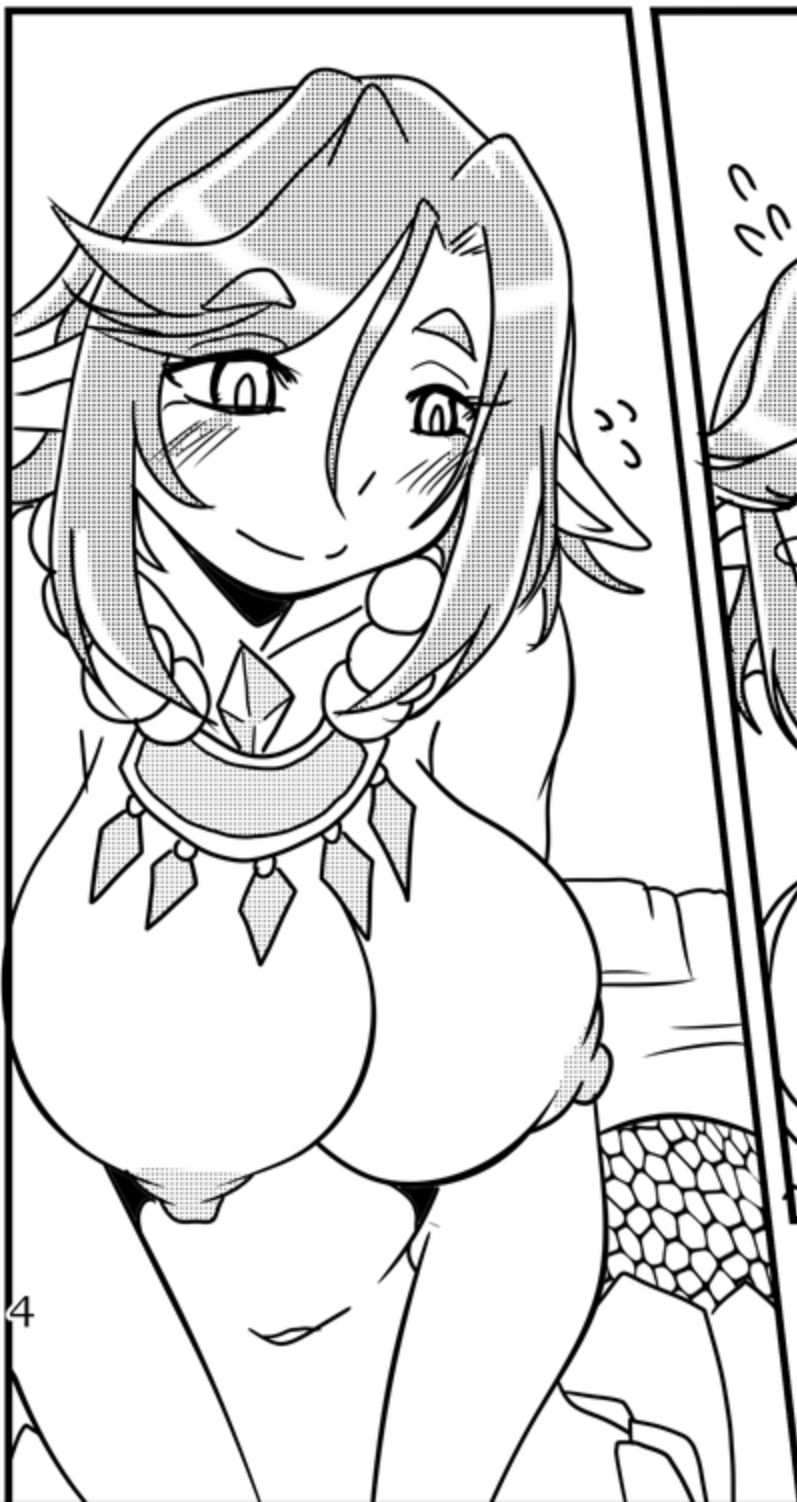
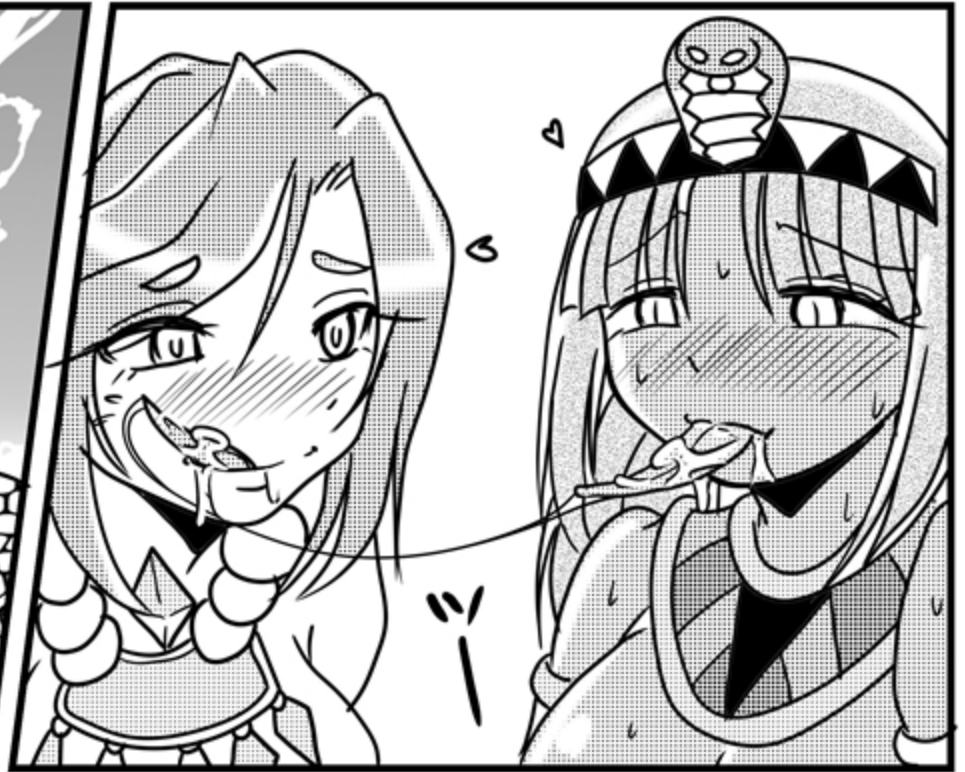
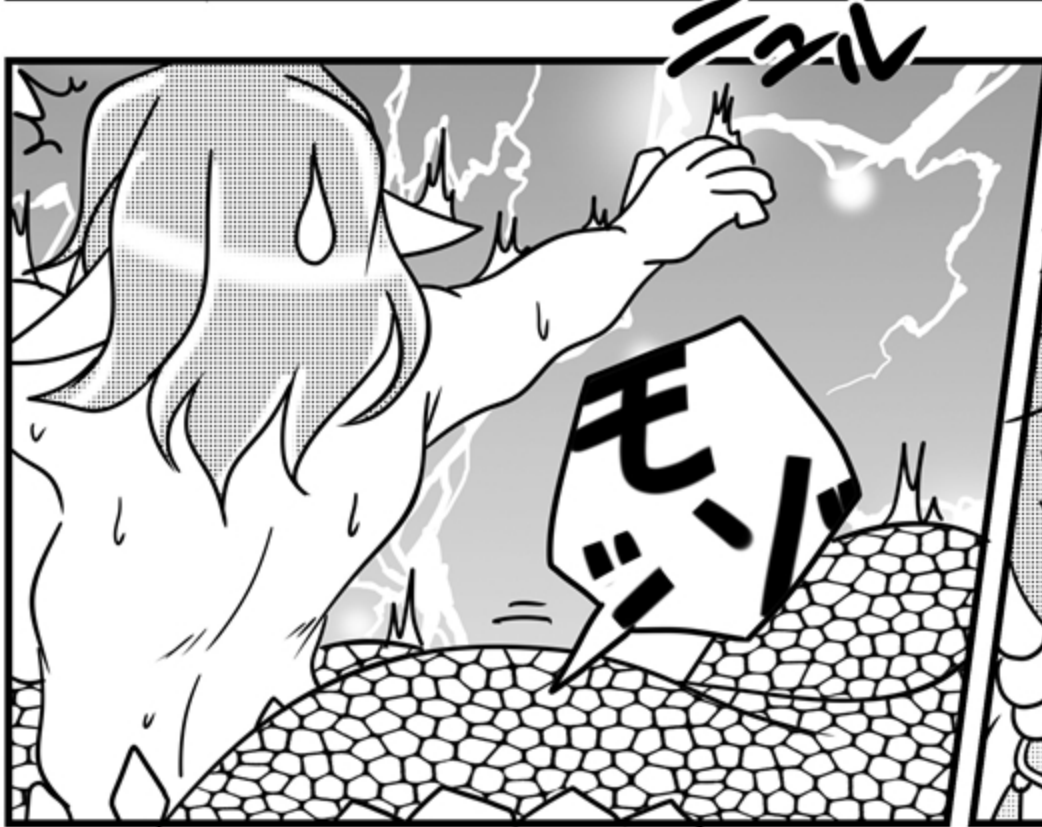
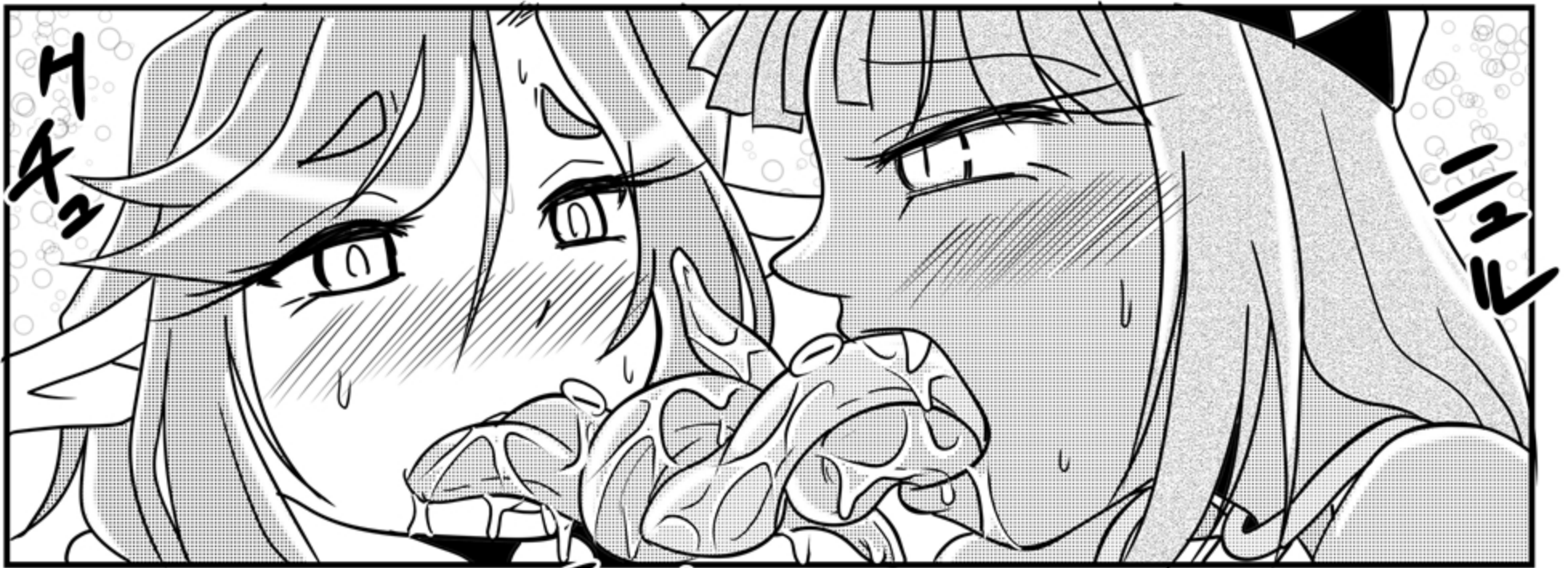


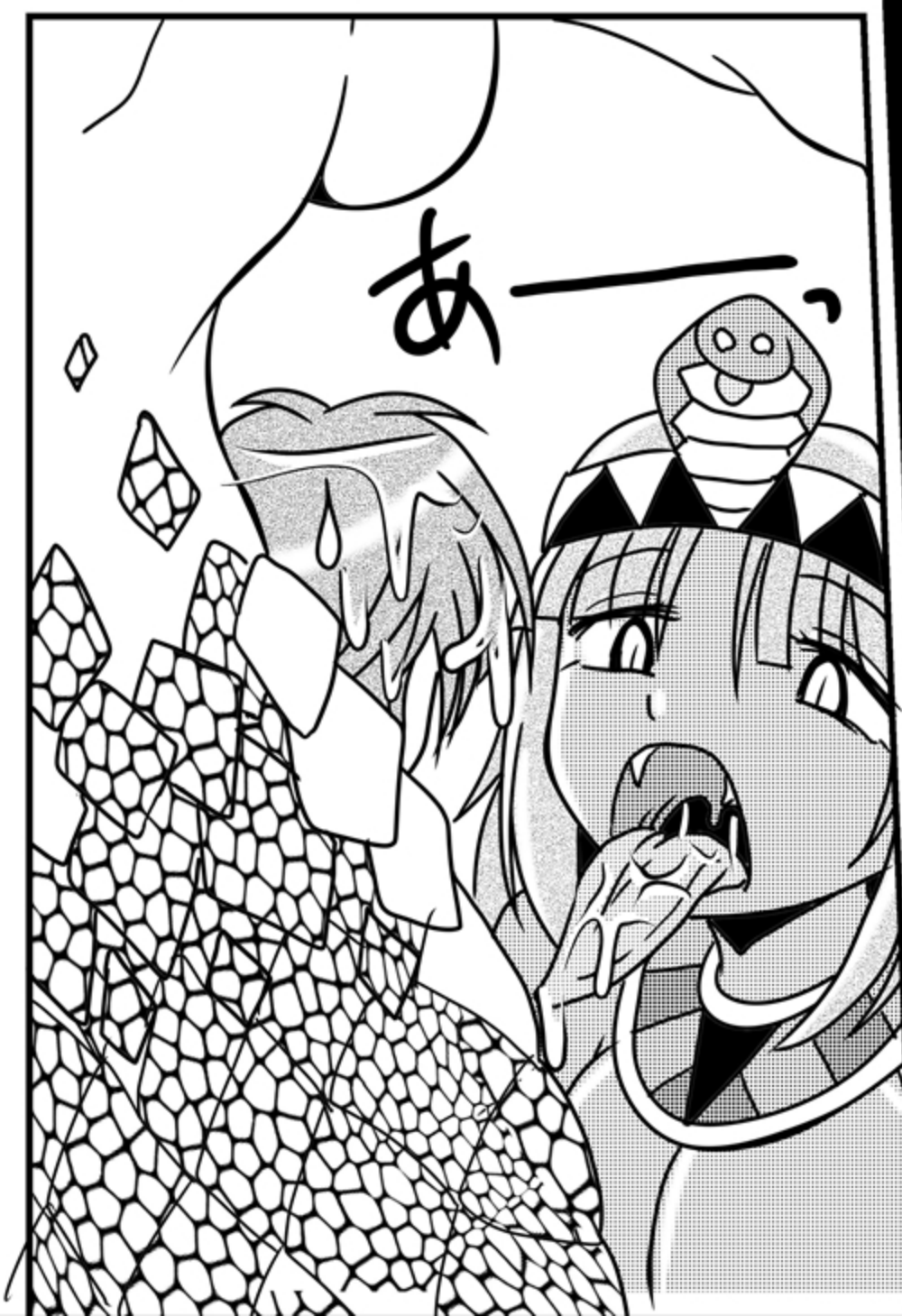
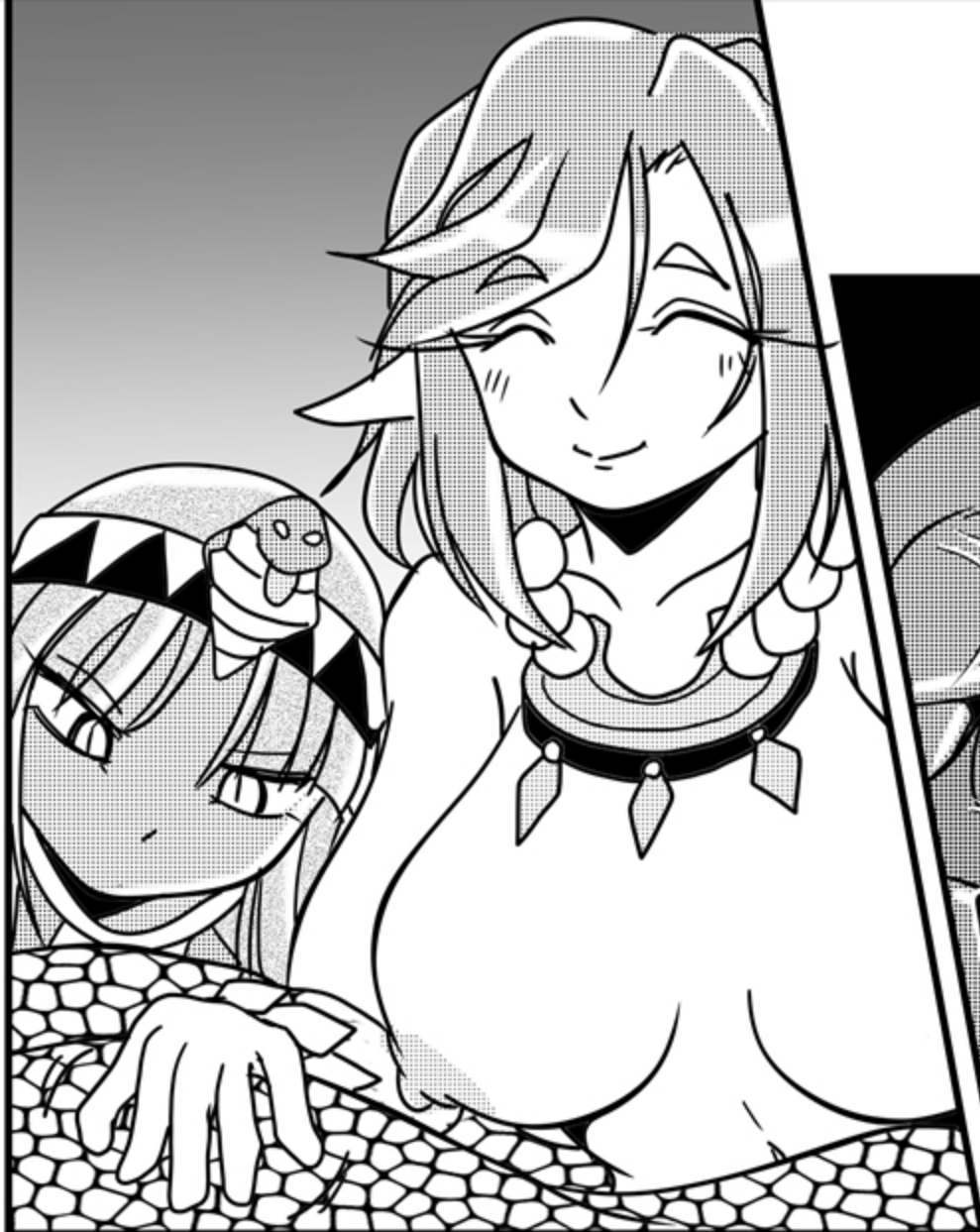


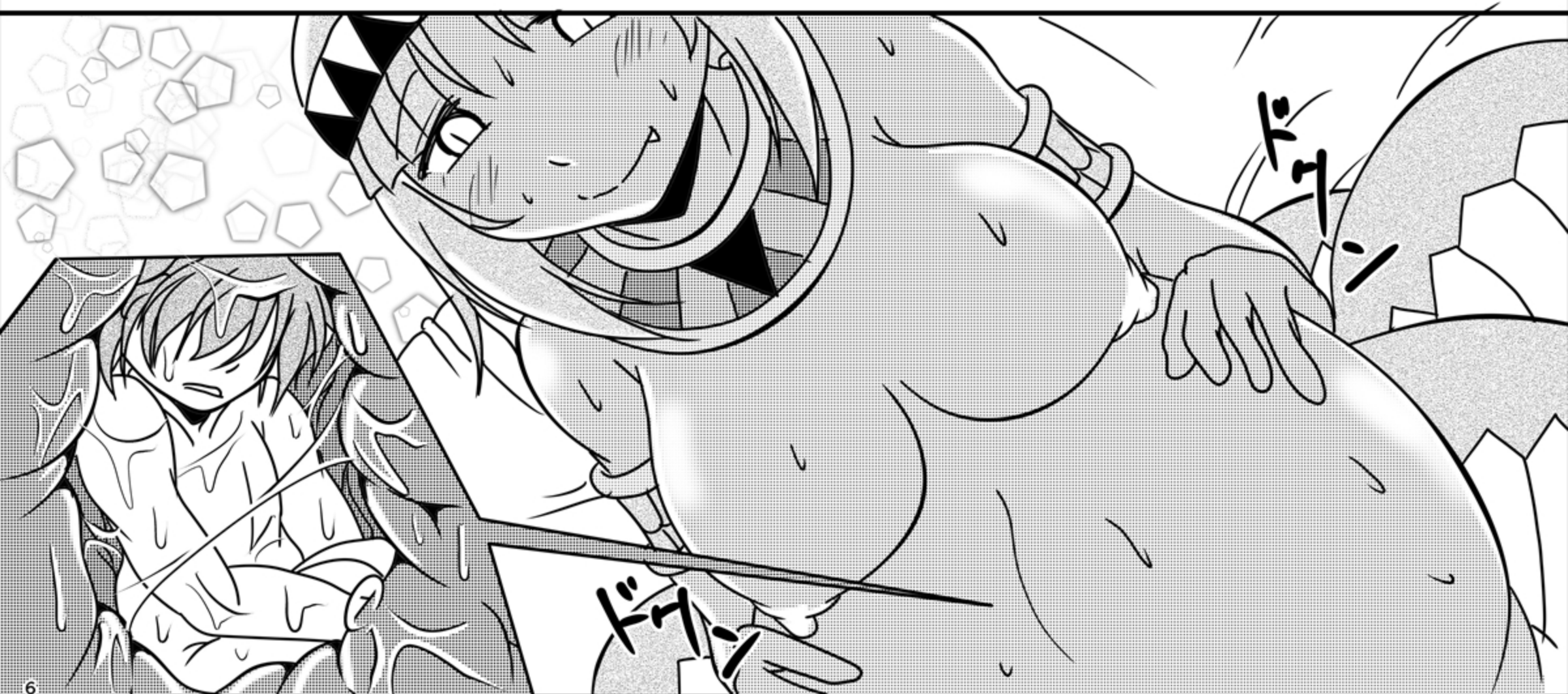
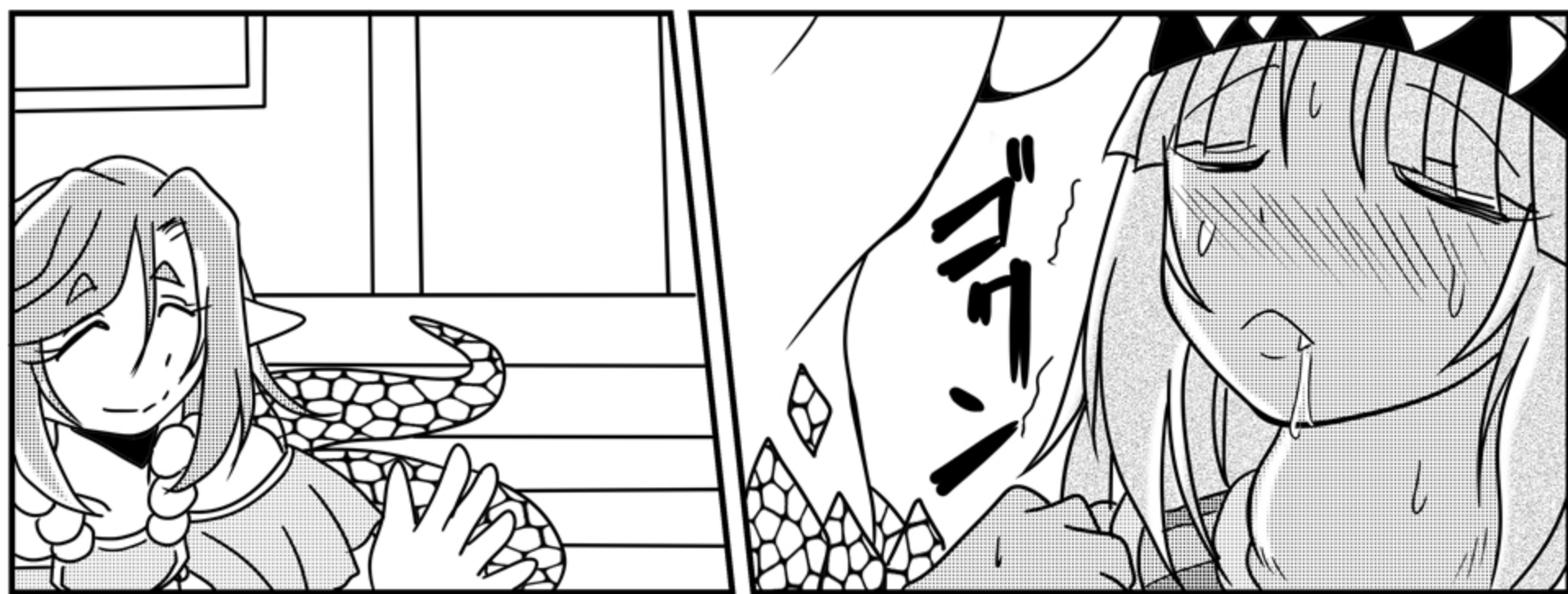
Early Morning

ばんこく堂









へミで生えずに済んだの巻
作：むむむ

ハーフなので

うふふふ…
人間さあん…

ちよーつとだけ、
人間さんに
シてあげたい事が
ありまして…♪

ぜえーつたい、
気持ちよーく
してあげます
からあ…

平気ですよお、
優しくするし

あ



あつは♪

ばん

そんなに
イイですかあ？
お尻が？

予想通りですなえ、
可愛いですよお♪

それじゃあ、
たあつぷり…

媚薬体液
中に出して
あげますねえ♪

疼いておねだり
したくなるくらい
たあつぷり…♪



【フラウの御奉仕乳首舐め手コキ】作…まに

夕食後、膨れたお腹を撫で擦りながら多幸感に浸る。柔らかなソファに身を委ね、満たされた想いで溜息を一つ。全身が甘ったるく痺れている。消化に酸素を奪われ夢心地の頭で、考えるのはただ、愛おしさと、感謝ばかり。

フラウ、いつもいつも、ありがとう。

心の奥底から思っていた僕は、後ろから迫る彼女の気配に気付くことが出来なかった。

「旦那様」

胸の底を甘く引つ搔くようなダウナーボイスに、僕は慌てて振り返る。

最愛の女性がそこにいた。

銀髪褐色、金色の胸を持つクールなラミアが、今は頬を仄かに赤く染め、もじついている。

「あの…その…今宵も、よろしいでしょうか…」

彼女の問いは要領を得ないが、僕にははつきりその意味が理解出来た。僕はたじろきながら、それでも全力で頷いて、彼女の問いに答える。

だって、彼女は衣服を着ていなかったから。

「…ありがとうございます…♡」

途端に、彼女は僕以外の誰にも見せない、甘い微笑で無表情を蕩けさせてくれた。

そして僕の隣に座ると、僕の足へと蛇の胸を絡めつつ、優しくズボンを剥いて、上着をまくる。

「…食後の一抜きは、乳首舐め手コキでよろしいですか…？」

静かな癖に、甘えるみたいな声。

僕が頷くと、フラウは嬉々として奉仕を始めた。艶に溢れた唇から長い蛇舌を這わせて僕の乳首を舐めつつ、空いた手で肉棒を抜き始める。

「ん…♡しゅきれふ、あなた…♡」

——快感と幸福に、僕は情けなく喘ぐしかない。こっちこそ、大好きとしか言いようがない。

フラウ…このあまりに完璧なラミアと結婚してもう一年になるけれど、この想いは一切衰えず、それどころか日増しに強くなっている。

フラウは最高の新妻だ。とても綺麗で、可愛く優しい。美味しいご飯を毎日作ってくれるし、僕を前にするとベタベタの甘々な理想の女性だ。

それでいて、外見も完璧、なおかつ性的魅力も凄まじい。母性と知性を持ち合わせながら、しっかりと雌でいてくれる。

そんな彼女との夫婦生活は、ただでさえ最高だ。——だというのに、フラウは日増しにその魅力を増していくのだから、好きでないわけがない。無口な無表情なクールビューティは、今ではもうすっかり、僕だけのドスケベ妻だ。

髪も伸ばして色っぽく、乳肉はサイズが二段階は上がっただろう。フラウはその性的魅力を僕好みになら育てつつ、アプローチも熱っぽくなってきた。

性交の時間はどんどん長くなっているし、今みたいに彼女が迫ってくるなんて日常茶飯事だ。

「人間と魔物が結婚すると互いが互いの好みに成長していく」という話は聞いたことがあったけれど、まさかここまでだとは思っていなかった。

「ふふ、御加減はいかがですか、旦那様…♡」

フラウは言いながら、乳首にちゅつと吸い付く。乳首舐め手コキ。僕の乳首をラミアならではの自在に動く蛇舌でこねくりまわしつつ竿を抜く。

僕の身体に全身で奉仕するフラウを見下ろせるこの行為は凄まじい支配感で、僕は否応なしにフラウが自分の女であることを理解させられて興奮を煽られることしか出来ない。

フラウの動きは完璧に僕の色に染まっている。彼女の舌が乳首に対し最も気持ちいい間隔で動く。敢えて軽く舐め転がすように動いたと思ったら、今度は艶やかな唇でむちゅり吸い付き舐めるのだ。

肉棒を抜く手は、指の輪でカリ首を執拗にこねたり、サオをたっぷり上下に扱いたり、絡みつく様子が奉仕というより交尾の趣さえ感じさせる。

僕はソファに座って、フラウのお手軽手コキに浸って喘ぐばかりだ。その手はつい、彼女のお尻を撫で回したり、乳肉を揉んだりしてしまう。彼女のいやらしすぎる身体を前につい本能が先に出て、なんだか彼女を所有物みたいに扱ってしまう。けれど、彼女はそれが嬉しいらしい。嫌がるどころか幸せそうに鼻息を洩らして、一層身体を密着させてくる。

「ふふ…すびゅるっ、えろえろ、ぢゅぢゅっ♡」
乳首舐めをするフラウの表情は、平然としている

ながらも満たされた風だ。

——フラウと言う女性には、何より平穩を好む。代わり映えのない日々でいい。ただ毎日、朗らかで幸福な時間を過ごせればいい。それが彼女というラミアの、最も深い根本なのだ。

だからこそ彼女は、(曰く)優しく暖かい僕と言う人間を好きになったのだと言う。

僕は日々、そんな彼女への感謝は絶対欠かせない。というより欠かさすわけがない。だって当たり前だ、フラウには何もかもをしてもらっている。

けれどフラウからしてみれば、そんな僕だからこそ、好きなのだから。愛情を伝えれば、誠実に返ってくる事が、なにより彼女は大好きらしい。

だからこそ、フラウはこんなに幸せそうな顔で奉仕をしてくれているのだろう。

僕も何か、少しでも返そうとするのだけれど、フラウの手コキと乳首責めは一足飛びに激しくなっていく、つい何も出来ずに浸ってしまう。

「んちゅっ、ん、もう出そうなのですか…？」

フラウの抜く手が淫靡に小指を立て、ラストスパートをかけてくる。

「どうか、妻のおてで気軽にびゅっびゅ、お願いします…ご安心下さい、散らした精液は魔法で綺麗にお掃除しますから…さ…ん、んんっ…♡」

囁きながら、手の動きは濃くスナップが効き、精液を搾り取る構え。同時にフラウは乳首を加え、激しく弄る。射精を煽る。

さりげない心遣いもあり、僕はもう身も心も幸福でいっぱいになりながら、ただ高まった射精欲のままに尿道へ精液を通した。

「んっ♡んっ♡んんっ、んんっ…♡」

射精。半固形の精液が飛び、床に軌跡をつけていく。フラウは乳首に唇を舐らせたまま、脈動する肉棒を手で優しく持っている。

射精が終わると再びゆっくり手を動かし始め、

「…お疲れ様でした、あなた…♡」

僕に顔を近づけ、蕩ける様な蛇舌キスを見舞う。本当に、フラウは余りに理想の存在だ。

フラウに対して歯止めは利かず、その夜は床につくまで結局三回ほどお気軽コキ捨て奉仕をしてもらったのだった——。



【フラウの濃厚朝勃起フェラ】

カーテン越しに染み入る涼しげな朝日に満たされた、夫婦の寝室に慎ましい水音が響いている。

僕は、目覚まし代わりに聞こえてくるその音に合わせて、下半身が快感に包まれているのに気がついた。

寝惚け眼で、布団をめくる。

蕩け眼で僕を見つめる、妻の姿がそこにあった。

「んふっ、んふっ：♡♡♡」

フラウは僕の肉棒を咥え、丹念に顔を上下させる。うっとり鼻息をしつつ、艶やかな唇で朝勃起の輪郭を何度もなぞり、快感で奉仕してくる。

その格好は、猫耳に、猫ハンド。

普段の慎ましやかな彼女からは考えられない破廉恥な格好は、ギャップで酷く、股間にくる。

色欲を煽る為だけのコスプレ姿はたちまち朝の寝惚けを吹っ飛ばし、僕は溜らず喘いでしまった。

おにゃんこフラウは、僕に優しく微笑んでくる。

おはようございます、旦那様、と。

淫らな妻の口淫で、どうか朝の火照りをお鎮め下さいませ、と――。

「ぶちゅっ♡ぶちゅっ♡ぶちゅるるるっ♡」

囁きが聞こえてきそうなほど、フラウはお口で甲斐甲斐しく勃起を抽送する。頬を窄ませ、舌を絡め、勃起に口内粘膜を密着させて扱いてくる、口淫の濃度はそのまま愛情を伝えてくるかのよう。

唇の艶で何度も膨らみを扱きたてるストロークは躊躇なく先端から根元まで行き届き、一往復の度に肉棒は満足感に満たされ、それを蠢く蛇舌が舐め溶かす。喉奥を突かされながらの極濃フェラは、ラミア妻でしか味わえない丸呑みフェラだ。

フラウが僕の為に頭を上下してくれるほどに、絡みつく快感が朝一の射精欲を煽ってくれる。

興奮の糧はフラウのエロコス姿。可愛くてはしたない格好で視覚的煽りも抜群だ。

「んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡」

喘ぐ僕を見て気を良くしてくれたのか、可愛いフラウは益々ピストン運動を速めてくれる。

その緩急の丁度良さは、僕の弱点を完璧に把握している彼女でなければ成し得ない芸当だろう。

フラウは日々、僕の性欲を満たす術を身に付けていく。勃起煽りのコスプレ姿も、僕専用の口淫技術も、僕の為だけに高めてくれている。

最近はどうもこんな朝勃起処理はお約束状態だし、色々なコスプレを進んでしてくれるようになっていく。僕と愛し合うその為に。

理想の妻、理想の奉仕。フラウの全てが最愛だ。「ずびっ、ずびっ：ぶちゅるるるっ：♡♡♡」

――何より、僕を見つめて肉棒を吸る下品顔の、心の奥底から幸せそうなことときたら。精巣が煽られる、勃起が滾る、甘さと下品さが同居したフェラ顔とはこうも魅力的なのかと痛感させられる。何で毎日欠かさず奉仕してくれるのか、何でそんなに幸せそうなのか。僕は以前、フラウに聞いたことがあった。

返って来た返事は――「奉仕ではないから」。

フラウ曰く、彼女にとつての朝勃起フェラは、「おちんぼ様への求愛行為」であり、そもそもが「フェラではない、ディープキス」なのだという。

どうりで幸せそうな顔になるわけだろう。一方的な奉仕ではない。フラウはあくまでキスを楽しんでいるだけなのだから。

僕の肉棒のウィークポイントを、丹念に舐めて、吸って、唇で扱う。そんな、キス。

僕はフラウの言葉を聞いて初めて、彼女の口淫が緻密で濃厚な理由を知った気がしたものだった。「ずびっずびっ、ねちゅねちゅ、にゅるるっ♡」

嗚呼、溜息が漏れてしまう。

布団にこもり、媚びコスで肉棒に求愛するフラウの姿は股間に悪すぎる。唇を肉棒にねぶらせ、素早くも濃密に粘膜を絡み付けて上下してくる。

蛇舌をカリ首や鈴口、サオの表面、裏筋などに、特別執拗に這わせる度に、舌が唇から覗く様がいやらしくて堪らない。

視線は僕を見るばかりでなく、視線を落とし、肉棒をしっかりと愛でるようにしてしゃぶる。彼女にとつて、肉棒もしっかり「旦那様」なのだろう。

猫ハンドで太腿をすりすり撫でて、顔を動かす。あのフラウがコスプレ姿で肉棒の為に動いている。支配欲を煽る光景に一層精液が煮詰まっていく。

肉棒はフラウの口を往復する度に、唾液をまと

ってぬらつく様を見せ付けて。朝っぱらからいやらしすぎる。

毎朝、これだ。フラウとの日々が幸せでないわけがあるだろうか。

これから、過ごしていくほどにフラウはエロくなっていくに違いない。

今後の期待さえ煽ってくれるキスフェラに、僕は一気に射精欲が上りつめていくのを感じた。

「ぶちゅっぶちゅっにゅるるるるっ♡♡♡」

フラウは完全に射精の兆候を見極め、僕を見つめて上下運動を激しくしてくれる。

唾液の絡んだ口内粘膜が勃起を滑り、ぶるぶるの唇の感触がカリ首を弾く、サオをなぞる。蛇舌は亀頭をべろべろと舐め上げ、尿道を全力で膨らませにかかってくる。

格好も視線も動きも、フラウは全てを総動員して僕に射精を懇願してくる。

僕は堪らず、愛おしいエロ妻へと今日一発目の口内射精をすることで応えた。

どびゅっ、どくっ、びゅるるるるっ♡

「んっ♡んふっ、んふっ：ちゅるるるるっ：♡」

絶頂感が、寝起きの多幸感を駆け巡る。

フラウは脈動する肉棒を吸って、尿道の中身を搾り取ってくれる。

猫コスラミアに、ひたすら、注ぎ込んでいく。やがてひとしきり射精をし終えると、全身を穏やかな余韻が満たしていった。

「んふうっ：んっ、んっ：♡」

フラウはアフターケアも欠かさない。ゆっくり顔を上下させ、尿道を吸り、舌を這わせて肉棒を掃除していく。その表情はとことん幸せそうで、僕は快感以外のものまで満たされていくのを感じた。

僕がお掃除に喘ぎながら浸って暫く、ようやくフラウは口から肉棒を離れた。

「はふ：おはようございます、旦那様」

ダウンーボイスが、今日初めて鼓膜をくすぐる。僕が心からお礼を伝えると、フラウはコスプレ姿のまま抱きついてきて、目覚めのキスをする。

キスをする前に魔法でさりげなく口を清める辺りがまた愛おしくて、僕は暫く余韻と共に、彼女と共に暖かな朝を噛み締めたのだった。



【フラウの着衣パイズリ】

平穩の象徴であるラミアの里では衣食住や金銭に困ることはない。基本的に自給自足の助け合いで成り立っている里なのだが、大らかな彼女達は損得勘定なしに担当の産物を配るからだ。僕自身も畑を耕し、収穫した作物をお返ししている。里の外に出たり、或いは外界からの輸入品を里の店で買おうとしない限り、貨幣は必要としない。小規模でも十分な自給自足が成り立つあたりは、広い森の恵みと、便利な魔法様様といったところか。ただその代わり、ラミアの里には娯楽が無い。最悪働かなくても済む代わり、とにかく暇なのだ。

なので外に出ない日、僕は太抵読書にふける。他のラミア達に会いに行く他、趣味の沢釣りに出かけたりフラウとピクニックにでも行く時以外、居間でフラウと肩を並べ日がな一日書物を紐解く。とは言え、時間を忘れるほどの濃厚な読書体験というものを味わえることはそう多くない。

「…ふふ、先程から私の胸ばかり見ていますね」
——無理もない話だと思わずにはいられない。

フラウは僕を見つめて朗らかに笑んだ。今日の彼女は縦縞セーターに細い黒縁の眼鏡、才女の趣抱える分厚い歴史書がよく似合う知的な風貌だ。そんな彼女の豊満な胸の膨らみを視界の端にちらつかされて、読書に集中なんて無理な話だろう。一年の夫婦生活を経て、フラウの胸は殊更豊満に育った。縦セタに浮く大きな膨らみが二つ、柔らかな生地を引き伸ばしてその丸みを溶け合せ、迫力満点の乳袋をむっちりと形作っている。

乳袋の中を隙間無く満たしているであろう褐色なまちちの極上つぷりを知っているだけに、僕はフラウに謝りつつ我慢出来ずにねだってしまった。フラウは本を閉じてほんのり微笑む。

「ごめん、などとてもでもないことでございます。それどころか、とても雄雄しくて惚れ惚れします。朝もあんなに搾らせて頂いたというのに……」

フラウは僕の耳元へと唇を寄せ、
「——今度はおっぱいを使って、旦那様の愛しいお顔を拝見することが出来るのですから」
吐息混じりの囁きを、鼓膜へ染みこませてくる。

フラウを見やると、彼女は殊更甘く笑む。僕を見つめるまま身体を落とし、あっという間に僕の股座を陣取ると、そのまま丁寧にズボンと下着を脱がしてくれた。

フラウは横髪をそっとかき上げ、現れた勃起にちゅっとキスを落とす。

「では：着衣パイズリを始めますね」

僕を見上げて囁きかける、フラウのもう片手は縦セタをたくしあげた。チヨコ色の細いくびれがちらつくと同時に、胸の膨らみが一層強調される。艶やかに照る下乳の谷間を露出させると、彼女は甘いなまちちの詰まった水風船が如く揺れるそれを、掬う様に持ち上げて亀頭へあてがった。

見惚れる楕円のボリュウムが勃起の上に鎮座し、
「：どうぞ：ご賞味下さい」

フラウが囁いた次の瞬間、水風船は僕の腰へと蕩け落ち、勃起を乳内へと迎合した。

途方も無く滑らかな挿乳に、僕は思わず喘いだ。
「ああ、なんて素敵で可愛らしいお声でしょう：」

幸せです：愛おしい人の私殺しなおちゃんぽ様に、こうして昼間から愛情を表現出来るなんて：♡」

なんという光景だろうか。

フラウが僕にパイズリをしている。
知性溢るる黒縁眼鏡姿をクイっと上げつつ、実

った乳袋を甲斐甲斐しく動かしてくれている。
着衣乳肉に肉棒を扱かれる感触は濃密の一言だ。

艶やかな褐色肌のきめ細かさが肉棒を舐め扱う。えてして大きな物体は質が落ちがただけども、

フラウの乳肉は豊満の全てが緻密な瑞々しさで、褐色の宝石を思わせる質の高さだ。

ぶるぶるもちもちの、極上チヨコ色おっぱい。そんな代物が縦セタ袋の中に一部の隙間もなく

みっちりで行き渡って中身を満たしている訳で。あまつさえ肉棒を扱いてきている訳で。

どうりで一扱きの濃さが別格な訳だ。

僕は彼女に身を委ね、ただ、浸ってしまう。褐色乳肉の詰まりきった縦セタの中を勃起でまったり通り抜ける満足感は格別だ。ききまくった乳圧

が、一層モチ肌のカメを肉棒へと練りこんでくる。フラウはパイズリしながら献身的に囁いてくる。

「いかがでしょう、お痒い所はございませんか？」

：お気持ち良いようですね、嬉しいですよ」

とろとろと鼓膜をくすぐるダウナーボイスの、節々に滲み出る甘ったるさが堪らない。知的な姿

とのギャップも相まって、可愛らしい、愛おしい。胸の奥を締め付けられるような感覚が湧き上がる。

それなのに、しっかりエロいのだからもう。頬の火照りが艶やかで、乳を上下させる手の動きも滑らか。全身から溢れるフェロモンを空目し

てしまうほど、フラウのパイズリ姿はいやらしい。綺麗なのに可愛くて、雌の魅力も満天で。僕は

乳肉の極濃上下に勃起をビクビク跳ねさせる。節操のない反応が抑えきれないほど、掛け値なしの

極楽を感じたからだ。

フラウの乳は、全部こっそり扱き均してくれる。大きな乳肉だからこそ味わえるボリュウム感に

溺れてしまうような扱かれ心地に、膨らんで痙攣する肉棒を満遍なく潰されながら、僕は震える声

で彼女に射精感が押し寄せていることを告白した。フラウは微笑み、手の動きを速めてくれる。

「ではどうぞ、一滴残らず乳内へお出し下さい：」
出し切るまで見守っていますから：」

眼鏡の奥から、蕩ける瞳が僕を見る。

その下で乳袋が強烈な上下にぐにぐにゆ歪んでいて、僕は堪らず乳内へと射精した。

しっかりと、射精に合わせてフラウは乳肉を股間へ打ちつけ、

「んっ、すご：びゅー、びゅー、びゅくびゅく：びゅっぴゅ、びゅるるっ：はあ、好きです：」

両手で乳肉にむっちり乳圧を与えながら、股間部へにゅりにゅり執拗に乳肉を練りこんで、射精を促してくれる。

極乳の密度が高すぎるせいか、僕は暫し、まるで種付け射精のように満足感のある乳内射精を楽しんだ。

「：読書の邪魔をして申し訳ありませんでした。：もう一回、ですか？：はい、喜んで：♡旦那様専用のエロ妻おっぱいに、どうかお気の済むまで

マージングをお恵み下さいね：♡」
全くもって、読書に集中なんて出来るわけない。

平穩な昼下がり、部屋にはページをめくる音の代わりに、ただ甘いパイズリ音が満ちていく——。



【フラウの極濃セックス】

愛する妻のペロキス顔が視界をいっぱい埋め尽くす。綺麗な顔が今はぐずぐずに蕩けきつていて、頬も紅潮しており、完璧に発情しきった雌面だ。肉棒に屈伏した所有物感を煽る表情、それが捕食者の凄みで一層淫靡を増しているあたり、奉仕好きだが生物としては遥かに上位の彼女らしい。

夜伽のフラウは、最近特別情熱的だ。

今夜も、フラウは僕に覆い被さり抱き締め巻き付きペロキスセックスを見舞ってきている。

傍から見れば、僕はラムミアに捕食されて四肢を情けなく震わせている獲物にしか見えないだろう。僕とフラウには体格差があるし、何よりフラウの求め方は貪欲だ。蛇の胴で僕を強く絞め、柔い身体をくねらせて滅茶苦茶に擦りつけてくる。唇のぶるぶるを押し付けて練り込み蛇舌の長さに任せて口内を蹂躪してくる、フラウの夜伽は最早ラムミアの捕食本能でいっぱいだった。

僕はただ、夢心地で彼女に身を委ねるしかない。褐色の肢体に包み込まれる快感は勿論、挿入した肉棒に走る快感は想像を絶する極楽だ。人間では絶対に味わえない締め付けと、自在の蠢きが勃起をゴツゴツり扱きたてている。フラウの極上名器は完全に僕の肉棒を気持ちよくする形に特化していて、肉襪のにゆるつきは勿論、膣に敷き詰められた短く細かい柔突起が裏筋をぞりぞりと小気味よく掻き扱くし、何重にも連なった凹凸が、カサのどっばりを引っかけて弾く。膣は上下に動くし波打つし、密着状態でも人間の腰振りとなんら遜色ない種付け交尾感を与えてくれるというのに、今のフラウはラムミアの筋肉に任せて腰をパコパコ振ってくれていて、膣内の複雑緻密な蠢きと相まって快感はもう極上、僕はとっくの昔に何度も精液を吐き出してしまっていた。

毎晩毎晩、こうなのだ。僕はフラウの精力増強魔法と美味しい食事で絶倫状態に育て上げられていて、空が白むまで気持ちよさしかない交尾に浸り、四肢をびくつかせている。

魔物娘の性処理特化ボディに全力で貪られる日々：これ以上の桃源郷は、きつとない。

「んふっ♡はむ、にゆるべろ、にゆるる：♡」
フラウは僕の唇にはむついて、中の舌を蛇舌でねっとり蹂躪する。口の中で巻き付き這いずり、舌を恍惚に蕩けさせてくる。

「にゆるるう：んあ：♡」

一度口を離すと、ほんのり幸せそうに微笑む。そして今度は僕の開きっぱなしな口から余韻に浸る舌を咥えて取り出し、舌フェラを見舞う。

「ちゅぽっ♡ちゅぽっ♡ちゅぽっ♡んふっ、んん、ちゅっちゅちゅちゅ、ぢぢぢぢっ：♡」

フラウは顔を上下に動かし、ぶるぶる唇で舌を扱く。献身的、甘くてなおかつ、興奮をそそる。至近距離で見るフラウは、横髪をそっとかきあげていて酷くいやらしい。

こんな色っぽくて極上テクを持った女性が僕の嫁なんて。僕は陶然と快楽に浸るしかなかった。やがてフラウは音をたてて僕の舌を離れた。

「っぽん♡：あなた、心地は如何ですか：？」
フラウは答えなど決まりきっている質問をし、

僕を殊更甘く抱き締める。耳元に唇を寄せ、

「どうか今宵も好きなプレイをご命令下さい：」

蠱惑的な囁きを膣コキ音に絡めることで、僕の興奮を煽り立ててくる。

「さあ、いかが致しましょうか：昨晩やり損ねた教師プレイにしますか？魔法で分身して王様ハレムプレイも素敵ですね。催眠プレイもいいですし、寝取られごっこも。あれ好きなんです。：ふふ、違いますよ。不埒な男を一生懸命演じた旦那様が、行為が終わると反動みたいに甘えて下さるのが堪らないのです：♡」

これもまた、夜伽のスタンダードになっている。僕の好みを知り尽くしたフラウは、思いつく限り僕の興奮するプレイを囁いてセックスをより気持ちよく演出してくれるのだ。

勿論、フラウは囁きの全てを実現してくれる。

確実に訪れる未来への期待に、僕は頭の中を淫靡なプレイでいっぱいさせ、精巢を滾らせる。

フラウはそんな僕を愛おしそうに見つめている。「さあ、一体何になさいましょうか」

——ああ、フラウ、大好きだよ。

僕は興奮に上ずる声で、思わず彼女に言った。

全てが愛おしいのだ、理性と本能の両方が高揚して、言葉に出さずにいられない。

自分でも情けないと思う声で、僕は必死に想いを伝える。ありがとう、感謝すると、彼女のしてくれる行為を連ねてお礼を言う、それだけで文字にすれば何十万字になるだろうか。

フラウは僕の告白を、ただ頷いて聞いてくれる。それどころか、僕が想いを伝えれば伝えるほど、一足飛びに美貌を恍惚に蕩けさせていった。

「ああ：だからあなたが好きなのです。あなたでなければ、満足出来ないのです：」

言い終わるより先に、フラウは僕を強く抱き締めた。その声は泣きそうでさえあった。

「：私はずっと、悲しかったのです。この世の中は、善意の何百倍も悪意が強い。心に残るものはいつも悪意ばかりで、善意は当たり前に忘れさられていきます：そして、心に残るといふことは、強いのです。何よりその人を染め上げます。人は思い遣ってくれる善意より、自分を振り回す悪意に魅力を抱いてしまうものなのです」

「それはきつと、生物としての防衛本能なのでしょう。仕方がないことかもしれません。しかし：愛していくほど離れてしまうなんて、こんな悲しいことがあるでしょうか」

「：でも、ああ、旦那様。あなたは悪意より善意を汲み取ってくださいなのです」

「どんなことより、毎日当たり前にある日常に、あなたは何より感謝して幸せそうにしてくれる」

「：そして、そんな男性という日々が、こんなにどきどきするものだとか私に教えて下さいました」

「ラムミアとしても、女としても：私、ふわふわきゅんきゅんしっぱなしです：♡♡♡」

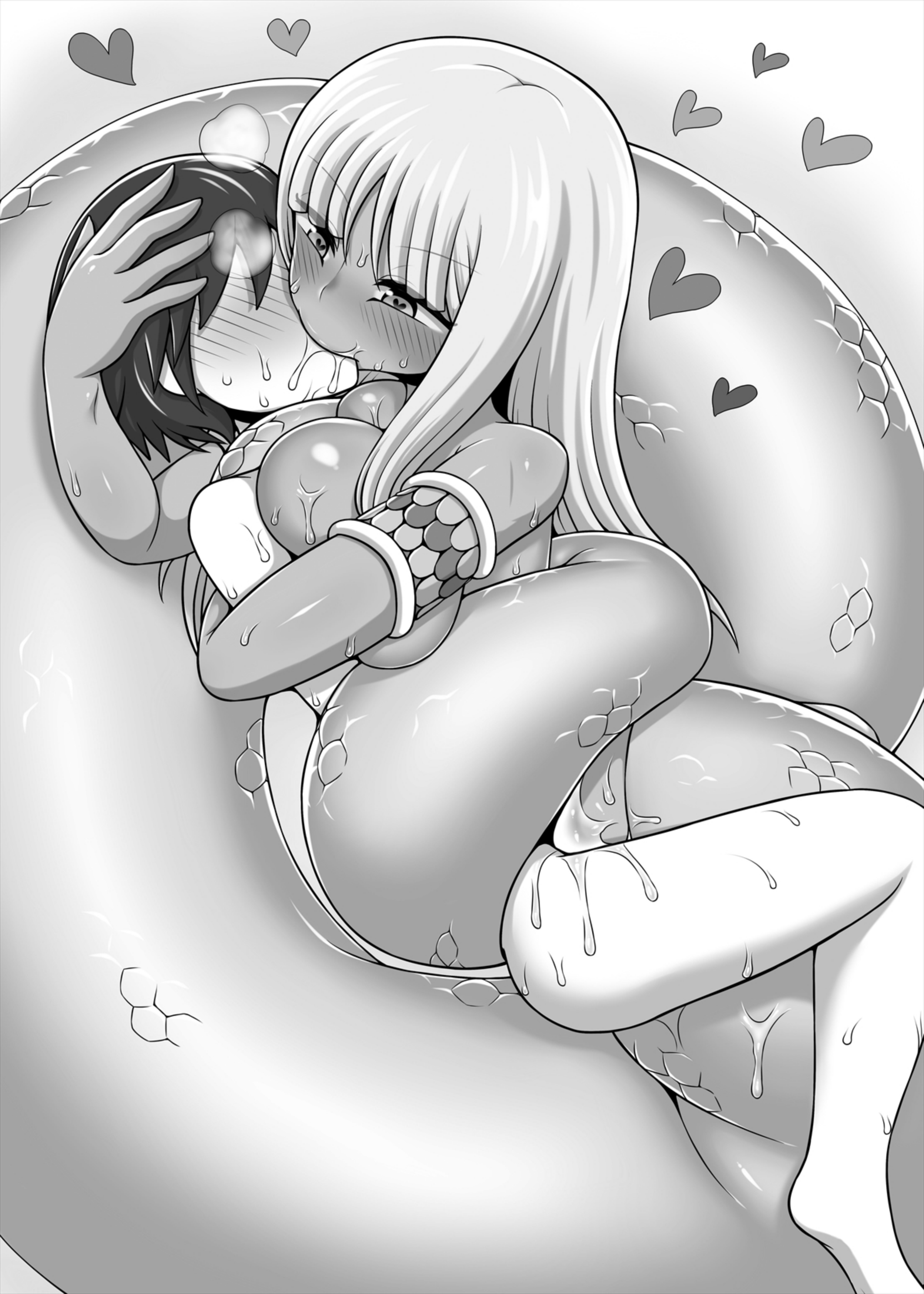
——僕だって、同じだよ。

僕は抱擁を返して、異性としても伴侶としても最高の妻に膣内射精を注ぎ込んだ。

フラウは、普段では考えられない下品で魅力的なイキ声を僕へと聞かせてくれた。

「：では早速：教師プレイから：♡♡♡」
乱れた髪を口元に引っ掛けたまま、言ってくる。

愛も性欲も全てをひっくるめて、いつも通りに淫靡で幸せな夜は静かに更けていった——♡



仲田 静



お待ち
して

はい

いっしょ
も

Yes





♡♡

えへへ…♡
気持ちよかった…？

ラミアの里～合同誌～

特典音声ダウンロードパスワード

電子版はファイルに同梱

奥付

発行 askot

発行日 2019/12/30

印刷所 みかんの樹様

HP <http://askot.info/>

□PROHIBITIONS□

●Unauthorized copying, reproduction and modification of the contents (texts & images □including those on the cover) of this book

●Uploading of the photographs and copies of the contents (texts & images □ including those on the cover) of this book to the Internet (□ You also cannot post them on Twitter)

●Resale of this book
(□ You also cannot put up this book for online auction)
(□ Please dispose of this book when it becomes unnecessary !)

-----禁止事項-----

無断転載、複製複写、転用、WEB上へのアップロードを禁止します。

違法行為を見つけた際はサーバー会社への通報、損害賠償の請求等行います。
